

昭和十七年五月二〇日午前一〇時
於 仙臺市
東北振興聯絡協議會（第二回）出席者名簿

内閣東北局長	宇都宮 孝平
全 署記官	渡邊 男二郎
仙臺土木出張所長	匹田 敏夫
仙臺財務局長	榎谷 孝典
東北帝國大學工學部長	宮城 晋五郎
種谷地方農村經濟調査所長	山口 弘道
青森養林局長	矢部 立志郎
秋田養林局長	脇田 立
東京養林局長	中尾 桂一郎

仙臺鑛山監督局長	山田 秀三
仙臺遞信局長	伊藤 敏行
仙臺遞信局長	吉澤 武雄
仙臺遞信局長	野尻 茂治
新潟鐵道局長	三富 秀夫
仙臺鐵道局長	御船 泰事郎
鐵道省東京第二工事事務所長	大木 利彦
鐵道省益岡工事事務所長	椋本 修造
鐵道省益岡工事事務所計畫課長	大谷 勝勝
宮城縣知事	林 信夫
福島縣知事	江邊 清夫
岩手縣知事	山内 義文
青森縣知事	山田 俊介

山形縣知事
 秋田縣知事
 東北興業株式會社總裁
 全 副總裁
 東北配電株式會社副社長
 全 業務部長
 日本發送電株式會社東北支店長

山内 岩上 川越 桑原 橋本 畑本 長南
 新喜 夫美 丈雄 幹根 萬之介 時雄 主稅

裏面白紙

昭和十七年五月

東北興業株式會社事業一覽表

東北興業株式會社

裏面白紙

◎ 自營事業ノ部

事業名	計畫資金	主要生産品目	昭和 年月	昭和 年月	事業場所在地
○ 化學工業 1 アルギン酸製造事業	六六〇〇〇	アルギン酸(糊物工業用) 糊代用品、硬水軟化剤、 保護膠質、防水加工用)	一三、四	一四、二	岩手縣大槌町
2 研磨材製造事業	四〇一、〇〇〇	人造コランダム	一六、〇	延中	福島縣野田村
○ 鑛産業 1 大貫鑛山	九六八、〇〇〇	金、銀	一一、二	一五、一	宮城縣大貫村
2 八鉢鑛山	六八、〇〇〇	金、銀	一四、六	一五、七	岩手縣下有住村
3 大雪屋鑛山	七八、〇〇〇	滑徳	一五、一	一五、五	岩手縣伊保内村
4 木友炭鑛山	一七、七〇〇	石炭、亜炭	一五、三	一五、三	山形縣舟形村
5 松川鑛山	一五、九〇〇	金、銀	一五、九	一五、〇	福島縣松川町
6 寶山鑛山	一一、九〇〇	金、銀、銅	一五、七	一五、八	山形縣赤湯町
7 下北炭鑛	一三、二〇〇	石炭	一五、三	一五、六	青森縣東通村
8 製錬派鑛業	一〇〇、〇〇〇	全泥式青化製錬法	一五、九	一五、二	宮城縣沼田村
9 調査研究	六四、〇〇〇	鑛山調査、アルミナ抽出 試験、砂鐵中間工業試験 其ノ他	一五、二	一五、六	1
○ 農林水産業 1 漁船貸付事業	一六、〇〇〇	大型、中型及小型漁船ノ 貸付	一五、九	一五、六	
2 母船式師漁業	一三、一五〇	遠洋漁業	一五、四	母船、 造中、 地一七、 春漁ノ 定	
3 リンゴ酒製造設備貸付	四〇、〇〇〇	リンゴ酒製造設備貸付	一五、四	一五、四	弘前市所在御幸 商會
4 魚介養殖事業	三〇、〇〇〇	養殖場設備貸付	一五、九	一五、一	秋田縣八郎潟
5 種畜場	二六、〇〇〇	養豚、小家畜	一五、四	一五、五	○ 宮城縣大平村 ○ 山形縣西荒瀬村
6 畜牛、種羊、 家兎貸付事業	三二、八〇〇	畜牛、種羊、家兎	一五、八	一五、九	山形縣、岩手、山 形、青森各縣下

計	○ 物産販賣及斡旋事業	一五〇〇〇〇〇	一版物産販賣及斡旋事業	一六五 一五五
	○ 其ノ他	九〇〇〇〇		
	1 産業科學研究所	九〇〇〇〇	東北地方ノ産業及經濟ノ振興ニ密與ヒンガ爲ノ調査研究	
			東京市	
		一五八四六〇〇〇		

裏面白紙

◎ 投資事業ノ部

會社名	資本金	當社出資額	主要生産品目	設立年月	採業年月	工場所在地
○發電及電力供給事業 株式會社	1,800,000,000	1,515,000,000	發電及電力供給	昭和16年11月	昭和17年11月	○秋田県 ○青森縣 ○山形縣 ○福島縣 ○東京市
○化學工業株式會社	1,180,000,000	821,000,000	金屬アルミニウム 低燐鐵、石灰燻素	昭和11年11月	昭和14年7月	○秋田県 ○石巻市
1 東北振興アルミ ニウム株式會社	1,000,000,000	1,000,000,000	金屬アルミニウム	昭和11年11月	昭和14年7月	○秋田県 ○石巻市
2 東北振興化學株式會社	1,000,000,000	800,000,000	低燐鐵、石灰燻素	昭和11年11月	昭和14年7月	○秋田県 ○石巻市
3 東亞輕金屬工業株式會社	850,000,000	1,000,000,000	金屬マグネシウム	昭和14年11月	昭和19年9月	○酒田市
4 日東化學工業株式會社	1,000,000,000	1,000,000,000	硫安・アルミナ 化成肥料	昭和13年8月	昭和17年8月	○八戸市
5 朝日化學工業株式會社	1,000,000,000	807,500,000	硫安	昭和17年11月	昭和19年5月	○秋田市
6 東北振興バルブ株式會社	500,000,000	450,000,000	人絹及ステープル アイバル用バルブ 製紙用バルブ	昭和11年11月	昭和15年5月	○秋田市 ○石巻市
7 東北アルコール工業株式會社	1,000,000,000	1,000,000,000	ブターノル、アセトン	昭和11年11月	昭和14年8月	○八戸市
8 東北振興皮革株式會社	500,000,000	330,000,000	水産皮革、魚膠	昭和11年11月	昭和14年9月	○仙臺市
9 東北振興ゴム株式會社	500,000,000	175,000,000	再生ゴム	昭和11年11月	昭和11年11月	○仙臺市 ○東京市
10 東北振興ベントナイト工業株式會社	1,200,000,000	950,000,000	シットール、粉末ベントナイト、ホーレンナイトサヒセン	昭和11年11月	昭和14年9月	○青森縣 ○山形縣 ○東京市
11 東北振興株式會社	1,100,000,000	862,500,000	電磁器、化學用陶磁器、土管、陶管、耐火物	昭和11年11月	昭和14年11月	○山形縣 ○庄町(新設中)

12 日本製薬工業 株式會社	5000000	50000	アセトアニリド、 アセトエチルエステル、 ステル、其ノ他	一六三	一六	山形市
13 東北振興土地 株式會社	4000000	4000000	土地埋立業	一五九	一五	秋田市
○ 株 工 業	三二七〇〇〇〇〇	九三八、八五〇				
1 東北車工 株式會社	一、九五〇〇〇〇	一、一〇〇〇〇	山用機械、内燃機 具、農具、大農式農 具、其ノ他軍需品	一六六	一六	秋田市 三工場 川崎市 東京市
2 株式會社 岩手 鐵工所	六〇〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	山用機械、軍需品	一三八	一八	盛岡市
3 東北振興精密 機械株式會社	一、五〇〇〇〇〇	八一五〇〇〇〇	諸兵器、自動車及航 空機用部品	一七七	一七	山形縣 天童町 東京市
4 株式會社盛岡 精密製作所	二、〇〇〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	各種ゲージ	一三九	一四	盛岡市
5 岩木精糖工業 株式會社	五〇〇〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	電氣計器、電氣測定 機器	一五二	一六	弘前市
6 東北船渠鐵工 株式會社	二、五〇〇〇〇〇	一七二〇、九五〇	造船、船渠、漁船用發 動機	一三四	一三	盛岡市
7 東北振興農機 株式會社	九八〇〇〇〇	四八五〇〇〇	輕油發動機、脱穀機、 打穀機、米選機、牽 製莖機、製糞機等	一五二	一五	山形市 酒田市 秋田市
8 株式會社 綿島製作所	二、〇〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇	鐵工、電氣機械、銅 製品、其ノ他軍需品	一五一	一	盛岡市 三工場
9 日本飛行機 株式會社	一、〇〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	飛行機ノ組立及機体 製造	一六八	一	盛岡市 山形市
10 東北振興織造 工業株式會社	一、〇〇〇〇〇〇	七五〇〇〇〇	毛織物、織物代用品	一五〇	一五	盛岡市
11 東北振興ニツシ 紙製株式會社	一、七〇〇〇〇	九一九〇〇	紙製、紙連	一三一	一三	山形縣 山形市
12 岩手開發鐵道 株式會社	五、〇〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	交通運輸	一四八	一四	秋田縣 小坂 秋田縣 鐵道 線ノ 定
○ 礦 産 業	一、七〇〇〇〇〇	一、五五〇〇〇〇				
1 東北亞鉛鐵業 株式會社	一、〇〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇〇	酸化亞鉛、鉛	一六一	一六	秋田縣 小坂 鐵道 線ノ 定

2 岩手炭礦鐵道 株式會社	1000000	1000000	石灰、耐火粘土	一四八	一	岩手縣 小川村
3 岩手礦業鐵道 株式會社	1000000	1000000	耐火粘土、耐火煉瓦	一四三	一四	岩手縣 小川村
4 和賀仙人銅山 株式會社	1000000	500000	銅、鉛石	一七三	一五	岩手縣 岩手縣 小川村
○農林水産省 終極係事業	11120000	15520000				
1 東北振興秋田 木工株式會社	1800000	800000	曲木椅子類、軍用車 体部分品	一四二	一四	秋田縣 湯澤町
2 東北合板密器 株式會社	1000000	3300000	杉、松、ヒノキ、 スト、建築用ベニヤ	一五二	一七	青森市
3 山形縣木材 株式會社	5000000	500000	立木ノ買入、伐採 生産	一六二	未定	山形縣内
4 宮城縣木材 株式會社	2000000	250000	立木ノ買入、伐採 生産	一七三	未定	宮城縣内
5 秋田油脂工業 株式會社	1800000	900000	米糠油、脱脂糠	一四九	一三	秋田市
6 弘前油脂工業 株式會社	1000000	700000	米糠油、菜種油、脱 脂糠	一四〇	一四	弘前市
7 岩手油脂工業 株式會社	1000000	500000	米糠油、脱脂糠	一五四	一五	岩手縣 花卷町
8 山形油脂工業 株式會社	1000000	500000	米糠油、脱脂糠	一六二	一六	山形市
9 宮城油脂工業 株式會社	1800000	200000	米糠油、脱脂糠	一六四	一七	仙台市
10 福島油脂工業 株式會社	1800000	900000	米糠油、脱脂糠	一六四	一七	福島市
11 東北振興水産 株式會社	7500000	3750000	遠洋漁業、漁船貸付、 水産食料品製造	一六六	一六	八戸市
12 渡波製氷冷蔵 株式會社	1000000	500000	製氷、冷蔵、冷蔵	一七一	一五	宮城縣 渡波町
13 東北畜産工業 株式會社	1800000	900000	豚肉加工	一五二	一五	南上市

計	日本協同證券株式會社	1 大宮水陸產資料品輸出株式會社	○ 其ノ	14 宮城縣走共集會社
三〇四二七五〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	一八〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇
七二九〇六八五〇	七五〇〇〇	三五〇〇	七八五〇〇	一〇〇〇〇〇
	一	一		製絲
	一六三	一五二		一三五
	一	一四二		一三七
	東京市	大宮市		〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 宮城縣白石町 宮城縣若山町

裏面白紙



東北地方振興計書要綱

特別委員會案

- 一 振興精神ノ作興
- 二 人口ノ増殖ト資質ノ向上
- 三 食糧ノ増産
- 四 資源ノ開發利用及工業ノ建設
- 五 開發立地條件ノ整備
- 六 東北興業株式會社ノ機能強化

一、振興精神ノ作興

東北振興事業ノ遂行ニ當リテハ全地方民ニ對シ更ニ自力更生ノ精神ヲ振作シ積極進取ノ氣風ヲ涵養スルコト緊要ナルヲ以テ學校、社會各方面ニ於ケル教育並ニ訓練ニ付特ニ之ガ徹底ヲ圖ルノ要アリ

1 國民鍊成所支所ノ設置
(目下立案中)

2 各種道場ノ擴充

東北地方農山漁村民ノ旺盛ナル精神ヲ作興スルト共ニ其ノ技術、經營、生活ノ刷新改善等ニ付一層努力ヒシムル要アルヲ以テ各種

道場ノ強化擴充極メテ緊要ト認ム

(參考)

擴充 既設道場 九

新設 女子道場 八 (農民道場六、山村道場一、漁村道場一)

所要經費概算 (五ヶ年) 五五五〇、〇〇〇圓

3 立地の教員ノ養成及優遇

(目下考究中)

二、人口ノ増殖ト資質ノ向上

東北地方ニ於ケル人口ノ資源ノ優秀性ニ鑑ミ之ガ増殖ト資質ノ向上ヲ圖ルハ秘メテ繁榮ナルヲ以テ左記方策ヲ實施シ人口増殖上遺憾ナキヲ期スルノ要アリ尙東北地方ニ於ケル工鑛業ノ振興、工業ノ設置等ニ當リテハ從來都市ニ於テ見ラレタルガ如キ弊害ヲ極力防止スル様人口ノ分布都市形態等ニ付キ特ニ考慮ヲ要ス

□保健所ノ増設

人口増殖上保健指導ノ中核タル保健所網ノ整備擴充ヲ圖ルハ極メテ緊要ナルヲ以テ速ニ之ガ増設ヲ圖リ保健指導ノ完備ヲ期スルノ要アリ

(参考)

保健所増設計畫

六二ヶ所 (内一〇ヶ所設置済)

保健所支所 一二四ヶ所

所要經費概算 (五ヶ年) 六九五六〇〇〇圓

□保健婦ノ設置奨励及養成機關ノ設置

國民保健衛生ノ直接指導ニ當ル保健婦ヲ設置スルハ極メテ緊要ナルヲ以テ之ガ設置ヲ奨励スルト共ニ其ノ養成機關ヲ設置スルノ要アリ

(参考)

保健婦設置計畫

保健所本所一ヶ所ニ付 一〇人宛

同 支所一ヶ所ニ付 六人宛

市町村駐在

市部 人口五千人ニ付一人 一、四四〇人

郡部 人口三千人ニ付一人 一、五三〇人

保健婦養成機關設置計畫

一縣一ヶ所宛 六ヶ所

所要経費概算（五ヶ年）一、九二六、〇〇〇圓

（目）榮養指導員ノ設置機關及養成機關ノ設置

東北地方住民ノ榮養状態ニ鑑ミ之ガ改善向上ヲ圖ルハ現下人的資源ノ確保ヲ期スル爲極メテ緊要ナルヲ以テ指導ノ完備ヲ期スル爲榮養指導員ノ設置ヲ奨励スルト共ニ之ガ養成機關ヲ設置スルノ要アリ

（参 考）

榮養指導員設置計畫 一、八二二人（内一二人設置済）

縣

一縣四人宛六縣分二十四人（内一二人設置済）

保健所（支所ヲ含ム）

一ヶ所二人 一八六 所分三七二人

市町村

一市町村一人 一四二六人

榮養指導員養成機關設置計畫

東北地方一ヶ所

所要経費概算（五ヶ年）一、六九一、〇〇〇圓

（四）國民健康保険組合ノ普及

東北地方住民ニ對スル保健施設ノ徹底ヲ期スル爲國民健康保険組合ノ普及ヲ圖ルト共ニ組合ノ保健施設事業ノ強化擴充ヲ圖ルノ要アリ

（参 考）

國民健康保険組合普及計畫

被保険者數 六〇九、二〇五人

（東北六縣町村全人口）

所要経費概算（五ヶ年）二、九四三、四〇〇圓

（四）住宅改善

東北地方農山漁村住宅カ保健衛生作業能率等ノ諸見地ヨリ缺陷多キニ鑑ミ之ガ改善ヲ圖ルノ要アリ

(参考)

所要經費概算(五ヶ年) 二、〇一五、〇〇〇圓

2 醫療保護施設ノ補充

□ 公醫養成施設

東北地方無病村ノ實情ニ鑑ミ公醫設置ノ普及ヲ圖ル爲公醫養成施設ノ補充ヲ爲スノ要アリ

(参考)

公醫養成計畫

七七三人(無病村關係五二五人)

所要經費概算(五ヶ年) 公醫養成 七四二、〇〇〇圓

□ 結核対策ノ徹底

東北地方ノ實情ニ鑑ミ結核対策ノ徹底ヲ圖ルハ極メテ緊要ナルヲ以テ特ニ歸郷者対策、特殊地域ニ對スル対策、患者ニ對スル措置ノ徹底ヲ圖ルノ要アリ

(参考)

所要經費概算(五ヶ年) 一、一四一、〇〇〇圓

3 結婚ノ奨励並ニ多子家族ノ負擔軽減

人口増強ノ積極的の方策トシテ結婚奨励ノ方策ヲ講ズルト共ニ多子家族ノ生活安定ヲ圖ルノ要アルヲ以テ婚費ノ貸付多子家族手當ノ支給其ノ他必要ナル方策ヲ講ズルノ要アリ

(参考)

所要經費概算(五ヶ年) 一、八一〇、〇〇〇圓

三、食糧ノ増産

東北地方ハ我國ニ於ケル極メテ重要ナル食糧供給地帯タルニ不拘同地方ハ冷害其ノ他ノ災害相踵グノ状態ナルヲ以テ速カニ之ガ徹底的施策ヲ考究スルト共ニ廣域ニ渉ル未熟地ヲ開發利用シ以テ農産生産ノ増強ヲ圖ルノ要緊切ナルヲ認ム

1 災害防止並救済制度ノ擴充強化

(一) 氣象豫報ニ關スル施設

從來中央氣象臺、農林省水産試驗場及地方水産試驗場等ノ調査ニヨリ長期豫報行ハレツツアリシモ更ニ之等ノ機能ヲ擴充シ豫報ノ的確ヲ期スルノ要アリ

(文部省關係ハ目下立案中)

(參 考)

所要經費概算(五ケ年)

七八〇〇〇〇圓

(二) 冷害防止施設

現在ニ於ケル凶作防止施設ハ昭和九年ノ冷害ニ直面シ其ノ對策トシテ差當リ必要ナル事業ヲ計畫セルモノナルガ其ノ經過ニ鑑ミ更ニ新タナル施設ヲ講ズルノ外當時ノ冷害激甚地域ニ限ラレタルヲ擴張シテ東北地方全般ニ亘リ實施シ以テ凶作ヲ未然ニ防止スルヲ要ス

(1) 新規事業

共同育苗施設、水稻溫床苗代ノ設置、水稻品種統制施設、病虫害防止除害指導施設、施肥改善並自給肥料改良増産指導施設

(2) 既設事業擴充

地方的試作事業、實地指導事業、適良種子配給、耕種改善指導

(參 考)

所要經費概算(五ケ年)

六三二二〇〇〇圓

(三) 災害防止林業施設

現在災害防止林業施設第二期計畫實施中ノ處東北地方ハ風潮類雪

一 等ニ因ル災害ヲ蒙ルコト極メテ多キニ鑑ミ本施設ノ補充強化ハ最モ緊切ナリト認ム依ツテ新ニ之ガ追加計畫ヲ樹テ林野崩壊ノ豫防並防砂、防潮、防風、積雪防止林ノ造成ヲ管スノ要アリ

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

七一〇六〇〇圓

(現計畫經費二六三六〇〇餘圓)

四 農業災害救済制度

東北地方ノ自然條件ニ基テ冷害等ニ依ル農作物被害ノ救済ニ付確固タル制度ノ樹立ヲ要ス而シテ農家及農業經營ノ事情並ニ馬産ノ重要性ニ鑑ミ現行農業保險並ニ家畜保險制度ニ檢討ヲ加ヘ努力ナル救済制度ヲ確立スルノ要アリ

五 寒冷地農業ノ指導

(一) 農業經營實驗並指導施設ノ整備及農村指導員ノ養成
東北地方ノ自然的經濟的特質ニ鑑ミ農業技術並ニ農業經營ニ關ス

ル實驗的研究ヲナシ之ヲ農業經營ニ導入具現シ最モ適正ナル農業經營ノ實現ヲ圖ルト共ニ更ニ部落共同組織ニ關スル指導ヲ徹底シ急速ニ農業生産力ノ増大ヲ期スルノ要アリ

(1) 東北地方農業經營實驗農場ノ設置
(東北地方農村指導員養成所附設)

(2) 東北地方農業經營指導部落ノ設置

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

三、四八三、〇〇〇圓

(二) 有畜農業經營

東北地方農業形態ノ改善ヲナス爲實情ニ鑑ミ一層有畜農業經營ノ徹底的普及ヲ圖ルコトトシ新ニ飼料經濟指導農場其ノ他ノ施設ヲ爲スノ要アリ

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

一、四九四、〇〇〇圓

③ 農業立地ニ即應セル試験研究ノ擴充

東北地方ノ地勢氣象等ニ由ル特殊ノ農業立地狀況ニ鑑ミ既往ニ於ケル凶作防止ニ關スル試験研究施設ヲ擴充シ水稻育成系統及新品種ノ冷害、稻熱病抵抗力ノ檢定並ニ稻熱病防除方法施肥法改善等ニ關スル試験研究ヲ行フト共ニ東北地方農業經營ノ刷新ヲ圖ル爲メ國立農事試験場所轄ノ畑作試験地ノ新設並ニ積雪地方農村經濟改善所ノ擴充強化ヲ期スル要アリ

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

三、九八三、〇〇〇圓

④ 東北帝國大學農學研究所ノ擴充

(目下立案中)

3 耕地ノ改良

東北地方ハ農耕地ノ利用度甚ダ低キノミナラズ用排水等各種ノ施設不良ナルモノ多ク農作物ノ成育阻害セララルコト多大ナルヲ以テ耕地ノ改良ハ喫緊ノ要務トス

暗渠排水、用排水改良、床締客土、耕地整理、地下水源開發

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

五、六一三、八〇〇圓

4 未墾地ノ開發利用

(一) 未墾地ノ開發

開發可能面積ノ比較的大ナル東北地方ハ食糧増産ト農家ノ經濟的發展ニ資スル爲メ開發ノ要緊切ト認メ之ガ事業ヲ強化徹底スルノ要アリ

(參 考)

所要經費概算(五ヶ年)

二、六二五、五〇〇圓

(二) 自作農事業ノ擴充

自作農ノ創設維持ヲ圖リ以テ堅實ナル農業人口ノ保有ヲ策センガ爲メ東北地方新墾發地ニ於ケル移住者ノ訓練招致入植並ニ經營厚生

施設等ニ關シ新ニ補助ヲ爲スト共ニ特ニ農地開發發團開發地區ニ於テ自作農タラントスル者ニ對シテハ其ノ耕地並ニ移住家屋ノ購入費ニ對シ補助ノ途ヲ講ズルヲ適當ト認ム

(參考)

所要經費概算(五ケ年) 四〇一七七〇〇〇圓

5 治水

(一) 河川ノ改修

(二) 砂防

(目下立案中)

6 國有林野ノ利用

東北地方ニ於ケル國有林野所在ノ特殊事情ニ鑑ミ國有林野内開發地ノ開放、利用、農養田採草地ノ改良並馬産用放牧限定地ノ整備等ニ關スル施設ヲ擴充整備シ依存關係ノ濃厚ナル地元山村ノ恒久的經濟安定並ニ食糧ノ増産ヲ圖ル要アリ

(參考)

所要經費概算(五ケ年)

一、六六五、〇〇〇圓

7 其ノ他

(一) 開拓助成

滿洲開拓民ニ關スル施設ヲ擴充強化シ其ノ送出ヲ容易ナラシムルト共ニ地元部落整備ヲ圖ル等ノ方途ヲ講ジ以テ東北地方農業生産力ノ擴充ヲ期シ重要農産物ノ増産ニ資セシムル要アリ

(參考)

所要經費概算(五ケ年)

九、六八五、〇〇〇圓

四 資源ノ開發利用及工業ノ建設

國內資源ノ總力發揮ヲ要スルノ時豐富ナル未開發資源ヲ擁スル東北地方ハ最も期待セラルベキ地位ニアリ依テ急速ニ之等資源ヲ開發利用スルト共ニ國內體制整備ノ一環トシテ同地方ニ適切ナル諸工業ヲ建設スルノ方針ヲ確立シ之ガ實現ニ付政府ノ強力ナル助成ヲ爲スノ要アリト課ム

1 地下資源

- (一) 銅、鉛、亞鉛ノ増産開發
- (二) 磷黃ノ増産利用（肥料工業）
- (三) 有用土石ノ増産利用（カーバイト、耐火煉瓦、陶管工業等）
- (四) 砂鐵製鍊
- (五) 石炭及亞炭ノ利用

2 林産資源ノ開發並培養

3 電源ノ開發利用

- (一) 水力調査
- (二) 有望地點開發
- (三) 發電所建設工事促進
- (四) 鑛工業用電力配給確保
- (五) 農村電化

4 工業ノ建設

- (一) 金屬工業ノ整備擴充
 - 輕金屬工業、合金鐵工業、鑄造及鍛造業
- (二) 機械工業ノ整備擴充
 - 工作機械及工具製造業、航空機械工業、造船業、車輛工業、鑄山田化學工業用農業用其他雜機械工業

(三) 官營工場ノ設置

(四) 前三項ノ工業建設ノタメ必要ナル諸工業ノ整備

五 開發立地條件ノ整備

資源ノ開發及工業ノ建設ヲ企圖セバ之ガ立地條件ノ整備ヲ要スルハ百
ヲ俟タズ特ニ東北地方ノ如ク諸施設未ダ充分ナラサル地方ニ於テハ一
層其ノ徹底ヲ期スルノ要アリ

1 道 路

□ 國道府縣道幹線道路ノ整備

□ 産業道路ノ整備

2 鐵 道

□ 東北幹線及重要枝線ノ強化

□ 建設線ノ促進

(1) 資源開發、生産擴充線

(2) 交通系統路線ノ整備

□ 臨港線設備ノ完成

□ 私設鐵道ノ建設、強化、買收

□ 自動車運輸ノ擴充強化

3 港 灣

4 河水統制

5 工業地帯ノ造成及都市ノ整備

六 東北興業株式會社ノ機能強化

東北地方振興ノ實ヲ舉グルニハ難ニ之ガ目的ヲ以テ設立セラレタル東
北興業株式會社ニ期待スベキモノ多シ之ガ爲ニハ同社ノ資本力政府助
成等ニツキ一段ノ強化ヲ加ヘ以テ同社ヲシテ穩健且活潑ナル活動ヲ爲
サシムルノ要緊切ナリ

供覽



2
5

拜啓 益々御清榮之段奉賀候
陳者過般福島縣廳に於て開催したる東北地方知事連絡協議會の際
御申入有之候當日の記録別紙の通作製致候に付及送付候條御受納
相成度得貴意候
敬 具

昭和十七年五月十二日

宮 城 縣 庶 務 課 長

内閣東北局長 殿

局長



書記官



宮 城 縣



日本標準規格JIS (182 x 257mm)

裏面白紙

昭和十七年四月六日

東北地方連絡協議會要領

宮城縣

(折上り 鑑定番号 B11821444)

東北地方知事連絡協議會出席者名簿

(昭和十七年四月六日 於福島縣)

内閣東北局
農林省
宮城縣

局長 宇部 孝平
局長 森重剛
局長 林信夫
局長 和泉豐治
局長 渡邊秀雄
局長 山内義文
局長 山内俊介
局長 山内繼喜
局長 岩上美雄
局長 江邊清夫
局長 野村儀平
局長 野村儀平

警務部長 鈴木 幹雄
土木部長 後藤 季雄
庶務部長 大村 吉衛
屬 八島 喜右衛門
屬 志賀 恆之
屬 角田 雅隆

午前十一時開會

林宮城縣知事之カラ初ムル最初ニ秋田縣提出ノ「來ル
ベキ市町村會議員選舉ニ於ケル地方廳ノ指導ニ付御
意見ヲ承リ度」カラ初ムル

岩上秋田縣知事 推薦制度カ市町村會議員選舉ノト
キニモ起ルト思フガ之ニ對スル各縣ノ意見ヲ伺ヒナイト云
フノデアル

林宮城縣知事 市會議員ノ選舉ハ告示ノ關係上日ガ
無イノデ今ノ選舉ノヤ中ニ地ネバナラズコンナコトヲ要
求サレテ居ル縣カラ何カト指示シテ呉レト云フノデア
ル先日内務大臣ノ御訓示ノ内ニ推薦制度カヤリタ
イト云フ話モアリ總務部長ニ指示スル様ニ話シテ來
タガ之ニ付テハ何テモ内務省カラ指示ガアル様タ
和泉宮城縣庶務課長 電話デ打合ラシタトキノ話テハ

宮 城 縣

ハツキリシナイガニ三日中ニ通牒スルトノコトデアツタ
岩上秋田縣知事 推薦制度協議會ノ方法ヲ指示
スルカ

林宮城縣知事 例ノ選舉肅正トカ愛村聯盟トカノ
活動ニ俟フト云フ程度カ
岩上秋田縣知事 良イ町村長ガ居ルトコロハ良イガ放
ツテ置ケカ

山内山形縣知事 山形ハヤツテ居ル翼賛會中心デ
岩上秋田縣知事 翼賛會中心ハ良クナイタロウ

江邊福島縣知事 翼賛會ノ中心ハ町村長タカラテ
林宮城縣知事 市町村長ガ自發的ニマルコトハヤリ難
イノテ大臣ノ訓示モアルコトタカラ通牒デモアレバヤリ良
イト云フ話デ

岩上秋田縣知事 ムマクヤレト云フガヤリ様が無イト思フ

(岩上秋田縣知事一八四七、七、七)

林宮城縣知事 ヤランヨリマシダト云ウコトデ今度ハ
満足スベキダト思フ

岩上秋田縣知事 前ノ方カネ 仙臺市ハトウカ

林宮城縣知事 仙臺市ノ方デハヤルト云ツテ居ツタ此
ノ問題ハ餘リ細イコトハヤラズ推薦制度ヲ進ムル

ト云フコトニスルカ

次郷倉ノ運送ニ關スル件之ハ郷倉ハ無クナルト

思フ政府ノ恩賜ノ米モ金デ返セバ良イト云フ話

ダガ夫デ東北トシテハ問題ハ之ハ宮内省ト話合フ

ト上ノ方針カトウカ

宇都宮東北局長 去年十二月農林省ト厚生省ト會

議ヲヤフタガ其ノ時ノ話デハ宮内省ノ了解ヲ得メ

ト云フコトデアリヤ

林宮城縣知事 農林省ノ森様ノ御話ヲ聞クコトニスル

森 食糧管理局技師(以下森林技師トス)

私森デアル米麥管理ノ強化ニ伴ヒ郷倉ノ機能カ無

クナルガ從來アツタ米穀貯貯蓄制度ヲ無クスコトハ

不可ナイコトデアルシ又農林省ハ昭和九年凶作ニ

際シ四十六萬石ヲ交付シタデ夫ヲ返ス義務ガアル

ノダガ今度夫ガ無クナルスルト今迄返シタ者ト公

平ヲ缺クノデ金デ返スコトニシタイト云フノデ今考

ヘテ居ルノデアル

林宮城縣知事 政府カラノ米ガアレバイザト云ツトキ掛

下ヲ受ケルト云フノデアルカラ 理屈ハ同シテアルガ宮

内省トノ關係ハトウカ

森技師 私ノ方トシテハ實際郷倉トシテノ働キハ出

來ナイコトニナツ 貯居ルガ存續シテ金デモ積ンテ共

濟施設ト仕度イト云フ話デアル 去年ノ末厚生省

(新上野原支那移民(一)ノ三七七頁)

カラ各縣ニ通謀シ經濟部長カラノ回答ガアリ私ハ
大體夫ヲ見テ居ルガ方針ハ未ダ決定ハシテ居ラ
ナイ

林宮城縣知事 郷倉ハ米穀ニ使ハレル倉ニハナラフテ居
ルニハ變リハ意イカ

森枝師 管理米ヲ入レルコトナルト郷倉ハ糶燠丞丞モ
出來ナイシ長ク保管スルコトモ出來ナイカシテ今迄
ト違フコトニナルガ折角造ツタモノデアルカラ雜穀
ヲモ積ンデ不經濟ナモノニハシタクナイト考ヘテ
居ル

林宮城縣知事 厚生省ト宮内省トノ話ハ付イテ居
ルカ

森枝師 各縣ノ交渉ニ依リ話カスルコトニナラフテ居リ
未ダ確定ハシテ居ラナイト思フ

宮 城 縣

山田青森縣知事 息賜ガカラネ

森枝師 夫ト精神的ト遺風ニスネ

林宮城縣知事 政府ガ米ヲトツテマノテアルカ
ヲ備荒スルニモ出來ナイ

森枝師 理屈カラ云ハハ款月ニナルト思フ

林宮城縣知事 之ニ關シテハ政府ヨリ方針ノ指示ガ
アルカ

森枝師 決定シテハ居ラナイガ米ヲ積マスニ金ヲ積
ムコトニナルト思フ

林宮城縣知事 夫デハ倉ハ不要ナイコトニナル

森枝師 倉ハ雜穀ヲ貯藏スルカ農業倉庫ノ借
庫ニスルコトニスル郷倉ニ入レタ管理米ハ本倉庫
デ燠丞丞シテ亦郷倉ニ入レルコトニナル

林宮城縣知事 東北デハ金デハナク物ヲ積ミタガワテ

(新上野國定製糖法一八二二ニモ見ル)

居ル

「食糧管理法ノ施行ニ伴ヒ政府交付米ハ之ヲ管理
米トシテ取扱ハルベキモ之ヲ郷倉ニ保有セシメ非常
災害用若クハ留該町村ノ中間端境期ニ於ケル需給
用トシテ保管處理セシムル様取扱ヲナスコト」ト云フ
様ナ考ヘ方デアル

山田青森縣知事 私ハ見テタイノテ實狀ハ判ラナイガ
改造ハ出來ナイカネ

森技師 夫ヨリ新ラシク造ツタ方ガ良イト思フ

江辺福島縣知事 デハ適當ニ町村ヲ使ヘト云フコトニナル

コ、タハワキリシテ實ヒタイ肥料トク木炭トカ適當
ニ使ヘト云フ點ヲハワキリシテ實フ

森技師 厚生省ノ方ヲ決メテモラウ

林宮城縣知事 御紋章ノ入ワテ居ル倉デアル

宮 城 縣

宇都宮東北局長 之ハ難シイノテ農林省 厚生省函
省共可成サワラン様ニシテ居ル

林宮城縣知事 事實米ノ管理ノ實狀カラ見テモ管
理上都合悪イ點ヲ補ハレルナラハ其處ニ置イテマルコ
トハ都合良イト思フ

山内岩手縣知事 郷倉制度ハ廢止ニナツテ居ルガ倉庫
ノ廢止ハ考ヘテ居ラナイ様ダヒント來テ居ラナイ米
ヲ入レテ居ルトコロハアルガ物置ニスルコトハ考ヘテナイ

林宮城縣知事 管理米ヲアレテ利用シテ管理米倉
庫ニナツテクレレバ幸デアルト思フ

森技師 實狀ハ農業倉庫ノ借庫ニナツテ居ル
林宮城縣知事 法律ニアルカラト云フテ御紋章ノ付テ
アル倉……(以下不明)

森技師 厚生省ヲモ其ノ點ヲ心配シテ居ル

(新上野町宮城縣知事一ノ二二二二二二二)

林宮城縣知事 借倉庫ニスルコトハ有ルト思フ

森技師 農業倉庫ノ支庫ニスルノガ多クイ

林宮城縣知事 農林省ノ米穀政策ノ決スルトコロニ俟ツ

コトニスルカ 餘リ雜ナコトニシナイ様ニウマイコトヲ考ヘテ

戴キタイ

森技師 良ク考ヘテウマクヤリタイト思ヒ居ル各

縣ニ於テモウマイ御考ノガアルナラハ開カセテ戴キタイ

林宮城縣知事 之ハ方針ノ決定ヲ俟ツコトニスル

次學務部關係連絡會議開催ニ関スル件ニ移ル

御説明願フ

山田青森縣知事 學務關係ノ學校教職員ノ待遇改

善トカ軍事後護關係ノコトヲ連絡シタイノテアル今迄

餘リヤラナイノテヤフテ貰ヒタイト云フノテアル

山内岩手縣知事 今迄課長會議ハ屢開催イテ居ル

宮 城 縣

林宮城縣知事 此ノ際私カラ報告スルコトガアル夫ハ此ノ

前ノ會議ノトキニ高等師範學校設置方ヲ決議トシテ

持出シタ 東北振興ノ幹事業ニモ出テ居ルガ文部省

ノ話デハ其ノ意思ハ全契ナイト云フノテアル理由トシ

ハ學閥ヲ造ルコトニアルト云フノテアル之ハ欺目ト

思ツタカラ 教員養成所ヲ早ク造ツテ貰ヒタイト申

上ゲテ來タ 夫カラ今ノ養成所六縣共同テヤフテ若

ル養成所ノ卒業ノ時檢定試驗クヤフテ呉レンカト云

フテ來タガ來タ人ノ中ニハヤメテ呉レト云フ話モアル良イ

人モ悪イ人モアルノテ之ハ十七年度十八年度モヤフ

テ貰ヒタイト思フ只給費制度ヲ考ヘテ是ヲラトウ

カト思フテ居ル 青年學校教員養成所ヲ東北ニ設

ケルト云フ話デアフタガ三百萬圓ヲ寄附シテ呉レト云フ

御免ヲ蒙ルマツタ

(新上野國文書館蔵 二二二四九號)

江辺福島縣知事 臨時教員養成所ハ何年制度カ
林宮城縣知事 三年制度デアアル(以下不明)

此ノ間文部大臣カ來タトキノ話デハ六ヶ月ト云フ
ノデハ難シイ一年ニセンカト云フ話デアアル

江辺福島縣知事 月下固フテ居ルノデアアルカラ 臨時教員
養成所ト別ニ考ヘナクテハナラナイ

林宮城縣知事 アレハ別途ニ考ヘル學務部ノ連絡會議
ハ十六日頃開ク豫定テ準備中デアアル

(森枝師退場)

岩上秋田縣知事 十六日頃ニマルカ場所ハ仙臺カ

林宮城縣知事 仙臺デアアル四月末日ニ養成所カ終ルノデ

關係者カ集フテ講師ト慈勞懇談會ヲ開催ノ豫定
デアツタカ時恰ニ衆議院議員總選舉施行セラル、
ク以テ之ヲ繰上ケ開催スルヨリイウコトニナツテ居ル

宮城縣

養成所ノ方ハ數學ノ臨時教員養成所ヲマルコト

ニナフテ居ルカラ 難シイト云ウ話デアアルガ今一度話

シテ見ルコトニスル女子醫專ヲ東北ニ設ケタイト云
フ話デアツタ

醫師ノ數ハ文部省カ決定セズ厚生省カ決定スル建

前デ文部省ハ夫ニ依フテ學校ヲ造ルコトニテワラ居ル

何處カ希望ハナイカ

岩上秋田縣知事 條件次第デアアル

林宮城縣知事 岩手ニハ醫專カアルナ

山月岩手縣知事 志願者ハ二十倍アル

林宮城縣知事 五月森デハトウカ之ハ地元カ期待シ

テ援助スレバ文部省ハ又スマルト思フ

私ハ地方ニ負擔ヲウケナイ様ニ繰返シ憎マレロク

ハイテ來タ

(前上野國定縣知事一八二二一七)

岩上秋田縣知事 敷地等可附任ナラヤフテ眞ヒソイ
江辺福島縣知事 夫ダケナラ何處デモマルヨ

青年學校教員養成所ノ方ハ
林宮城縣知事 青年學校教員養成所ハ高等學校ト同
シ程度ニナル大體三百萬圓カ、ル

山内山形縣知事 アレハ各縣ノ養成所ヲ國ニ移管スルコトニナ
ツタジヤナイカ

山内岩手縣知事 十八年度カラヤリタイト考ヘテ居ルト云フ
話ナ

山内山形縣知事 山形ハ政策シ様ト考ヘ起債デヤロウトシ
クガ内務省デハ待テト云フ話ナ

江辺福島縣知事 福島ハ起債ヲ認ムラレタ最モアレラ出サ
ント師範カ困ルンダ

林宮城縣知事 此ノニツノ問題ハ振興調査會トキノ
宮 城 縣

文部省案ノトキニ考ヘルコトニスル
次官吏制度ノ改正ニ関スル件ニ移ル特別任用ノコトニ
屬五年ヲ年限短縮ノコトテアル史般モ三月足ラントカ

云フノテ内務省デハ何トカ考ヘルト云フ話ナガ法制
局ガトヤモイカン

江辺福島縣知事 待遇職員ノコトモ一緒ニ考ヘル
林宮城縣知事 之ハ官該者者ニヤルコトニスル待遇官ト一般

事務官ハ事情ヲ具シテヤルコトニスル
次ニ移ル

山内山形縣知事 大シヲコトハナイ實行機關ニ付研究シタ
イノデア

其ノ一ツハ市ヲモ管轄シ得ルコト、スルコトデアアル市ヲ除外スル
コトハ能率的ニモ面白クナイ
第ニハ人的ニモ事務的ニモ可及的強カキ機關ヲラシムルコト

(新上野調査報告第二(一)XIV頁)

第三ハ廳舎ノ増改築其ノ他多額ノ経費ヲ必要トスルニ付
國費ニ於テモ相當負擔サレタイコト

第四ハ職員住宅建設ノトキハ預金全部資金ヲ融通セラ
ルコト

此ノ點ヲ相談ノ上可成連環終シタイノテアル
林宮城縣知事 市ハ實際困ルナ

山内山形縣知事 住宅モ資金ノ融通ヲ受ケテ造ワテヤラ
ント困ル

林宮城縣知事 軍事後護其ノ他ニシテモ金錢ノ支拂ヲ
ヤルコトニセント困ル

モ一ツ時著目ノ獎勵デモハ名來ルガアレモ中間機關ニ
出サナキヤナラント思フガ大藏省ガ承諾スルカ

岩上秋田縣知事 秋田ハ視學ヲ郡ニ出ス
林宮城縣知事 郡ノ數ニモ依ル從前ノ郡ト今度ノ郡

トハトウカ
宮 城 縣

山内山形縣知事 或ソテ來テ居ルガ大體良イト思フ

山内岩手縣知事 内務省ノ考ヘテ居ルコトハ大體適當
ト考ヘテ居ルガ沿革ノ問題デ一フニスルコトガ難シクナル

郡ノ名稱ヲ考ヘルコトハ
林宮城縣知事 考ヘテ來イト云フノダ

山内岩手縣知事 郡ト中間機關ノ管轄ノ違ハトコロハ
トウスル

林宮城縣知事 郡域ノ變更テヤル宮城モ數ヶ町村アル
其ノ為ニ議員カ減ルトコロモアルガ之カ困ル

山内岩手縣知事 實行機關ハ經濟部ノ出張所見タイ
ナモノダカラトシヤルガ郡ノ名前ニハ困ル

江辺福島縣知事 郡ノ名稱ヲ變へルノカ、郡ノ區域ハ法律

(折上り編定縣制四ノ二五七頁)

カ

林宮城縣知事 法律ヲ然シ名稱ヲ變ヘルノカネ

江辺福島縣知事 福島ハヤフテアワタ

山内岩手縣知事 夫デ文句ハ來ナイカ

江辺福島縣知事 何見セハシナイカラ文句ノ來様カ思イ

山内岩手縣知事 ソウ簡單ニヤレルナラ良イト思フ

江辺福島縣知事 東^西トアルノチ一ツニスル

山内岩手縣知事 ソシナラ苦勞ハシナイガナ、山内手ハ^權貴郡

トク^ク贍洋郡トカ名前カ違フノダ

林宮城縣知事 九ツ限違フノダ

江辺福島縣知事 両方沼カ付イテ居ルノテ両沼郡トシタ

トコロモアル

林宮城縣知事 逆ニコシナ考ヘハ市ニ連絡部長カマル様

十仕事ヲ市長権限ニ委ヌコトハ

宮 城 縣

(和泉府務課長ニ對シ)之ハ未ダ考ヘテ無イカ

和泉宮城縣庶務課長 未ダ考ヘテ無イ

江辺福島縣知事 仙臺市ハドウカ

林宮城縣知事 仙臺市ハ本廳デヤツテモ地元ガカラ

江辺福島縣知事 實際適宜ニヤツテ行クヨリ外仕様ガナイ

要項ニハ何ト書イテアル

林宮城縣知事 市ハ除外シテアル廳舎ノ建設費ハ六十萬

円ハカ、ル

山内岩手縣知事 岩手ハ地元負擔ニ委ヌ

江辺福島縣知事 (福島縣庶務課長ニ對シ)団体事務所ハ

各郡ニ皆アルカ

大村福島縣庶務課長 免イ所ハ三ヶ所アル

江辺福島縣知事 地元ニ皆造ルカ

山内山形縣知事 二所ハ負擔シナイ

(新上り調査報告第一二二二七七号)

山内岩手縣知事 地之負擔ヲ結構シ

江辺福島縣知事 地方ノ實情ヲ知事ニ委セテ吳レ

林宮城縣知事 監督ニハ意ヲ建物ノ方チアル

岩上秋田縣知事 之ハ難シイナ

林宮城縣知事 構成ハ我々ノ方デ適當ニヤツテ良イト思フ

岩上秋田縣知事 秋田ハ前カラヤツテ居ルガ長ガ良ケレバ

良イガ長ガ悪ケレバ駄目デアル

江辺福島縣知事 各課カラ出スコトヲ澁ルノガ多クイラレシ

林宮城縣知事 夫レ行キタク意イト云フ上話ノ方ガ強

イラレシ

山内岩手縣知事 内務省デモ此際部長ヲ火クシテ行ク

コトハトウカ

林宮城縣知事 書記官ハ課長ク兼務サセテ減ラサナイ

テ事務官ノ減ラス方針ニアル

宮 城 縣

住宅ノ方ハ陳情スルコトニスル市ノ方ハドウスルカ

和泉宮城縣庶務課長 要項ニモ市ヲ除イテアル

山内山形縣知事 郡市一體ト云フ異コト市ヲ除外スルコトハ

考ヘテ眞ヒタイト云フノテアル

江辺福島縣知事 市ニ事務所ヲ置イテ何々郡連絡部

ハ市ガ承知スマイ

林宮城縣知事 追テ書ノ位ニヤツテ置カカ

次視學及職業指導所職員ノ待遇改善ニ關スル件ニ

移ル

山内岩手縣知事 職業指導所デハ困ワテ居ル状シイシ待

遇ガ悪イノテ疑獄事件ガ多ク起ルノテ出シテ次第デア

ル

江辺福島縣知事 今度上ゲテ來タ平均トレン位上ゲテ來タ

林宮城縣知事 説明ニハ本官ニシテ眞ヒタイトアル

（新上野國定資料館）

山田青森縣知事 素質が悪いノテハナイカ名古屋以来カ殊ニ
悪い會社デモ困ソチ居ル

岩上秋田縣知事 夫モアル市カラノ移管當時ノ周旋屋ノ
氣合カ抜ケナイ者カアル

山内岩手縣知事 官吏制度改正ト一緒デモ良イ

山内山形縣知事 視學ノ待遇改善ハ私モ賛成デアル校長
敬頭ガ奏任待遇ニテリ視學ニアルト判任待遇ニナル之ハ
不可ナイ

林宮城縣知事 指導所職員ハ今ヤツテ莫ソバカリダカ
ラ之ハ官吏制度ノ中ニ含メルコトニスル

次ニ移ル之ハ補助率ヲ上げテ吳レト云フノテアル
岩上秋田縣知事 之ハ良イヤルコトニスル

林宮城縣知事 次暗渠排水工費用資材確保ニ関スル件ニ移ル
之ハ青森ノ話ヲ拜聴シテ方デアリ賛成デアルヤルコトニスル次ニ移ル

宮 城 縣

江辺福島縣知事 今ノト同シテアル

林宮城縣知事 國庫補助交付時期ニ関スル件ニ移ル

岩上秋田縣知事 何時モ年度末ニ來ルノテ困ル

林宮城縣知事 速達テ受領送ヲ寄越セトカ之ハ事務管
局ニ委セテヤルコトニスル

次鐵道運賃低減並生乳輸送特別取扱方ニ関スル件ニ
移ル

山内山形縣知事 之ハ山形モ六割近高クナツタ農村ノ副
業ニモ影響スル

和泉宮城縣知事 本縣當局ノ意見トシテハ從來ハ二五
五五ノ料迄三〇銭デマツタカ今般ノ改正ニ依リニ五

百料迄七五銭ニナツタ然レ五割外デアルカラ四〇銭ニナ
フテ居リ大体三割強程度デアルノテ止ク得ナイト云フ
意見デアル

(新上野館定額第1401号)

江辺福島縣知事 トヨ云フ譯ニ五倍トナフタカ何々間違

ガラヤ

林宮城縣知事 五倍ハ少シ多イナ之ハ研究スルコトニスル

(本問) 題ハ和泉宮城縣庶務課長ト福島縣畜産課長ト
協議、上福島縣當局ニ於テ再調スルコト、シ保留ト決定

シタリ)

次地方國民貯蓄職員ヲ中間機關ニ配置方ノ件ニ移ル
之ヲ云フカ云ハスカ、云ハズニ黙ワテ居ルカダ

山田青森縣知事 兼務サシテヤラセレバ良イト思フ

林宮城縣知事 振興課ノ仕事ハ此ノ人バカリデヤソテカ

デハ云ハズニ置クカ、初メハ深ク置ケト云フ上詰テアツメガ

山内岩手縣知事 之ハ中間機關ニトラレテ了ラフ慮シガ

アルカラ云ツテ來タノダ

林宮城縣知事 事務的折衝ニスルカ之デオ書ニスルコトニスル

宮城縣

(年干時午後〇時二十五分)

午後一時三十分再開

林宮城縣知事

宇都宮様話シテ下サイ

宇都宮東北局長

調査會ノ進行ノ状況ヲ申上ゲル御手許ニ配付シ

タカ幹事案ヲ決メ立案シタ夫ハ

開キ或項目ヲ決メ立案シタ夫ハ

人口政策

食糧増産

資源ノ開發

工業ノ地方分散

農村組織ノ遠心化

ノ五項目テアル之ニ依ツテ各關係者ニ立案シテ貰ツタ其ノ出来
上ツタモノヲ持寄ツテ三月十一日開キ其ノ時ノ意見モアリ三月二十日
迄書面テ戴ククトニシタ夫ニ依ツテ農林省海軍省カラ案カ出
来三月十九日特別委員會ヲ開キ林様ノ出席アツタ其ノ時ハ決

宮城縣

ツタ案ハ無カツタノテ五ツノ項目ヲ擧ゲテ審議シタ堀切様ヲ特別
委員上トシテ近頃ニ無イ活潑ナ會議テアツタ其ノ時林委員
内ヶ崎委員等ノ意見モアツタ夫ニ昨年ノ御意見モアリ東北
局ノ幹事案ヲ纏メタ夫カ御手許ニ配付シタ案テアル此ノ案ハ關
係省ニモ夫々送ツテアリ今月ノ十五日幹事會ヲ開ククトニナツタテ
居ルノテ私ノ方カラ行ツテ見ルト却々進ンデ居ル選舉后總會ヲ關キ
夫ニ依ツテ大體ノ方針ヲ決メ特別委員ヲ設ケ六月中ニハ答申
ヲ終了スルヲ定テアル其ノ案ハ公表シテ東北六縣ノ民間團體
ノ意見モ纏メル其ノ前ニ纏ツタモノヲ御見セスル積リテアル
計畫ヲ作ル心持テスカ之ハ注意事項トシテ書イテアル
第一番目ニ調査目標セシ第一カラ第四採リ上ゲテ昭和十八
年度カラ五十年間ニヤルエトニ仕度イ
資材資金ハ充分節約スルモ必要量ノ確保ニ付工夫シテ見
ル

地方員ノ負担軽減ハ午前中ノ林様ノ御意見見入通
テ了リ是非
ヤツテ見タイ東北興業ノ運用ニ付テハ機能ヲ強化スル
ニシタイ
五六七ノ問題ハ第一番目ニ考ヘル目標
テアルガ大綱ハ

一、振興精神ノ作興

二、人口増殖ト資質ノ向上

三、達成目的ノ確立

人口増殖ノ目標ヲ何處ニ置クカ重点主義
テ行クト云フ各省ノ

御話テアル項目ハ

衛生思想ノ普及

家族負担軽減ノ方策
テ家族負担ノ軽減ハ子供ヲ生シ

テモ育テ難イ東北ノ實狀ニ鑑ミテヤル
ニトニスルガ却テ難シイ

達成目的ノ確立テアルカ之ハ此ノ前ハ
目標ヲ樹立ナカッタカ今

度ハドレトヤルカ

四、資源ノ開發利用

宮城縣

五、工業ノ地方分散

六、農村組織ノ適正化
テアル

重タツタ所ハ夫夫テアル

和泉宮城縣庶務課長 (東北地方振興計畫調査
細目ヲ朗讀ス)

宇都宮縣東北局長 大休ノ報告テアル

林宮城縣知事 之テモ項目カ多
過ギテ何處迄實

施豫算ニ盛ツテ見レルカ心配
テアル、各省共初メテ當ツタ

モノテアルカラ之ハヤツテ見ルガ政府
ハヤルカト云フ様ナ逆ナ質問

モアツタ

岩上秋田縣知事 厚生省ノ國民健康
保險組合トカハ

一般的ナモノテハナイカ

宇都宮縣東北局長 之ハ補助金ヲ余計
見レルトカ何トカ厚

生省テ考ヘテ見レル

林宮城縣知事 保健婦
テスネ、之ハ各町村ニ一人宛置

(新上野宮城縣誌 一八二二頁)

イテ之ヲ榮養施設ヲ見テ貰フ之ガ五ヶ年デ三百二十四萬圓カ
ル差詰之ニツテ大ヤツテモ大ニタモノデナイカトモ話ヲシテ來タ

宇都宮東北局長 人口ノ問題ハ軍部ニ準ズルモノダト云フ
ッテ厚生省テ強調シテ居ル

江辺 福島縣知事 東北ハ死亡率ガ多イノカ
宇都宮東北局長 ヨイ
岩上 秋田縣知事 港灣トカ道路トカラ起シ之ニ依ツテ東
北振興ガ出來ルノテハナイカト交通運輸ノ關係カラ東北ハ居
レテ居ル

林宮城縣知事 氣象ニ全ヲカケテマルニトハ役所ノ研究
トシテハ良イカトモ思ツタガ議論倒レニナルノチネ

岩上 秋田縣知事 手取早ク保健婦デモ置イテ貰フカ
江辺 福島縣知事 人口問題ハ
岩上 秋田縣知事 生メ殖セヨト云ヒナカラ東京ニ集メテハカリ居ル

宮城縣

山内 山形縣知事 乳幼児ノ死亡率ヲ止メルニトカ第一カ
交通ニモ山形等ハ板谷峠ノ鐵道ヲ變へレバ開發サレル
江辺 福島縣知事 鐵道モ此處迄復線ヲ持ツテ來ナケレバ開發
ハ出來ヌ

林宮城縣知事 厚生省ノ人口増殖ハ具體的ニ考ヘテ居ルニ
私モ其ノ裏ニナル問題ヲ厚生省ノ方ニ話シテ來タ

食糧増産ハ東北興業ニ話シテ暗渠排水用ノ土管ヲ造ツテ
貰フニトテ話シテアル

米麥以外ノ畑作以外ノモノニ付テ困ツテ居ルノデ青森ニ東北ニ
配給スル薯ノ採種圃ヲ造ツテ貰フニトテ話シテアル北海道ハ
運輸關係テ困ツタカラ東北六縣テ自給自足スル種薯ノ採
種圃ヲ東北ニ設ケテ貰フ

之地的教育ノ優遇方策ノ確立ニ付テハ東北地方ノ教育ニ
手當ヲ出シテ貰ヒタイニト等モ考ヘテ居ル

(新上野圖書院蔵 一六二四四四番)

女子教育校醫養成ノ施設之ハ

宇都宮東北局長 之ハ具體的ニ書面ニ出シテ來ナカツタ

林宮城縣知事 雪害ノ為ニ學校施設ニ補助ヲ出シテ居

ル之ハ十七年度テ切レルガ繼續ニタイト文部省テハ云ツテ居ツ

タ

宇都宮東北局長 國民學校教育刷新ノ為先生ヲ訓練

スルノニニ五百萬圓カルト云フ話デアアル

山内山形縣知事 中等學校ハ

宇都宮東北局長 中等學校ハ生徒ヲ道場ニ入レル

林宮城縣知事 却々金カカルンダドレモコレモ

保健映畫教育ノ實施等ハ全クカヲ入レルニトハナイト思フ

宇都宮東北局長 順ヲ違ウテ々意見ヲ承ルニトニタイ

林宮城縣知事 第一振興精神ノ作興ニ付テ承ハルニトニスル

之ハ先日内ヶ崎様ノ話デハ精神ヲ作興シテ貰ヒタイト云フ話デ

宮 城 縣

アツタ

宇都宮東北局長 (印刷物ヲ朗讀シタルモ聽解不能)

林宮城縣知事 精神作興ハ才題目ニシテ大ニ叫ブノハ

良イカ實際際ハ違フ方面テ振興ニテ行クヨリ外ハ無イト思フ

江辺福島縣知事 此ノ問題ハ兵隊ハ東北カ一番良イト云ハレ

テ居ル夫ヲ蒙昧ニ去フハ不可ナイニ特別教育ヲ要スル

等ト云フニトハ不可ナイト思フ

林宮城縣知事 ソウ云フ意味テハナク内ヶ崎様ノ話テハ

自力更生ノ精神ヲ樹テ其ノ上ニ計畫ヲ樹テ貰ヒタイ

ト云フンデアアル

江辺福島縣知事 東北ノ人ニ特別教育ヲヤラナケレバ東北振

興ハ成リ立タント云フノハオカシイ

宇都宮東北局長 施設ノ内容ハ實習訓練ヲマルガ何トカ

實物教育ヲマルト云フンデアアル

(前上野國史館編纂部刊「大正十一年」)

江辺福島縣知事 實物教育ナラ良イ夫ヲ精神教育ト

カ何トカ去フノ不可ナイト思フ
若上秋田縣知事 東北振興ハ基礎的條件ヲ造ツテ貰ヒ

タイ夫デ無ケレハナラナイ
林宮城縣知事 夫ハ十八年度カラ實施スル譯ニハ行カン

カラ之地位條件ニ付テハ次年度ニ廻スト云フニナツクテアル
山内山形縣知事 練成所ト云フハ全額國庫補助カ

若上秋田縣知事 各種道場へ出來テ居ヤツテ貰フハ良イカ

山内青森縣知事 立地的教育ノ養成之ヲ執ルコトニスルカ

江辺福島縣知事 (聽取所不能)
林宮城縣知事 之ハ一番金カカル次ノ人口ノ増殖ト資質

ノ向上之ハ石里様ガ東北ノ人ノ資質カ良イト云フ且其体的事由
ヲ擧ケテ吳レト云フ話カアリ議長モ副議長モ出テ居リ總

理大臣モ東北大夫犬テ充分タト云フタ様ナ譯デ之ハ冗談
デアツタカエニナ話モ出來タ

山内山形縣知事 ジットニテ居ル素質ハアルガ積極性ニ之シイ

林宮城縣知事 重點ヲ何處ニ置クカ保健婦ノ養成ト保

健婦ノ設置之ニ置キタイ

山内青森縣知事 之ハホントニヤツテ吳レルンテスカ

林宮城縣知事 僕ハ年ニ十四五入宛増ヤシテ居ル之ハヤツテ

吳レルト確信ニテ居ルンダカネ
衛生思想ノ徹底之ハ地方ニ未ダシテオイトモヤルト思フ
住宅ノ改善ニ付考ヘテ見タカ、之ハ窓柵トカ何カノ改善
テ毎年壹千戸ヲヤルトスレバ一戸當六〇圓デモ五ヶ年テ百
五十萬圓位カナル

(新上野町愛知縣知事)

岩上秋田縣知事

大藏省が承知スルカ知ラ

山田青森縣知事

金貸シテヤツテ補助等ニ依ラス大キヤルト

云フエトハ出來ナイテスカ

山内山形縣知事

保健所ヲ各郡ニテ所位造ツテ其、后

保健婦ヲ置クコトニスルト良イト思フ

岩上秋田縣知事

ソウダ醫療施設トクツケナケレハイケナイト

思フ

林宮城縣知事

保健所ヲ毎年一府縣ニミテ所宛設ケルト

スレハ五ヶ年中ニ一郡ニ一ツ宛出來ルニトニナル

宇都宮東北局長

(東北地方ト保健所ノ問題ヲ朗讀説明ス)

林宮城縣知事

今様ニ一ヶ所ニ十人位置置クト三百萬圓

位カールンダ

最右ニ之丈ハト云フ様ナエトヲ東北局ニ希望スル

家族ノ負担軽減之ハ色々考ヘテ見ダカ難シイ、之ニ付テ高

宮城縣

等科以下六人ヲ持ツテ居ル家庭ニ付補助スルコトニシテ見

ルト一縣當約六〇〇戸トシテ三百萬圓位カールンダ又單ニ金ヲ

出スエトハ一考ヲ要スル

宇都宮東北局長

之ハ東北ダケニ考ヘル理由ハ子ト難シイ

林宮城縣知事

母性讀本ヲヤルトカ云フコトモアツタカ之ハ

地方ニ柔女シテヤツテ貰フテモ良イト思フ

宇都宮東北局長

負担軽減ニ付何カ良イ考が無イカ

岩上秋田縣知事

保健婦ヲ置ケハ段々良クナツテ來マスヨ

林宮城縣知事

保健婦ヲ置ケハ段々良クナツテ來マスヨ

坊主ヲ使ヘト云フ語モアルカ夫ハ真平タト云ツテ來タ

江辺福島縣知事

子供カ生レタラ皆育テ様ト考ヘテ居ル

林宮城縣知事

國民体力検査ヲヤツテ居ルカヤツテ見タ後

手配カ付テ無イカ検査ノ結果注意ヲ要スル家庭ニ付栄

養費治療費トシテ百圓ヤルトスレハ一縣一千戸トシテ五ヶ年テ

(新上野圖書製本局「大正十一年」)

三百萬圓カールスト補助が行き過ギル嫌がアリ大キナ聲デ云ヒ
兼ネル夫位テ外ニ方法ガ無いニダ

山内山形縣知事 劬イ家度ニ百圓位ヤルト良クナル

宇都宮東北局長 金ヲヤルノハ不可ント云ヒマスガ

山内山形縣知事 金ニ依ラス物デモ適當ニヤレバ良イト思フ

江辺福島縣知事 トニ角一村ニ人宛保健婦ヲ置ケバ良クナル

山田青森縣知事 厚生省ガ騒ギ出シテカラ死亡率ガ下ツテ居ル

林宮城縣知事 結局保健婦ヲ置ケハ問題ハナイカ物質

的ニ走ラス精神的ニテ供ヲ泣泣ニ育テサセルコトニカラ盡シタイ

家ノ窓拂ノ改造ハ人間ノ氣持モ快活ニスルラシイ

若シ此ノ案ニ良イ考ヘカアレバ云ツテ貰レタイ末夕日カアルカラ東

北局ニ出シテ下サイ

宇都宮東北局長 十四五日頃迄御願スル

林宮城縣知事 食糧増産ニ移ル之ハ氣象豫防トカ研究

宮 城 縣

所ヲ設ケテ呉レト云フノタカ大分金カカル

冷害ニ対スル防除ノ方法ハドウシヨウモナイ

山内岩手縣知事 (發言スルモ不明)

山内青森縣知事 出来セシヨアレハアメリカノ海軍ガヤツテ居ルカ

夫ヲ日本海軍ニ御願スルコトハ不可ナイト思フ

宇都宮東北局長 冷害ノ原因カ判ナイニテ夫ヲヤラント不可ナイ

林宮城縣知事 原因ハ判ツテ居ルガ現實ニ起ツテ来ルニトニ対シ

チノ上カ法ガ

山内山形縣知事 之ハ春ノ内ニ夏ノ豫報カ判ル様ナニトニ

シタイト云フヲハナイカ

宇都宮東北局長 (發言スルモ不明)

林宮城縣知事 アチドモナイユトヲ研究スルト云フテハ不可ナ

イカ五月ニ種ヲ播イテ夏ニナツテドウナルト云フ様ナメドヲ付ケル

ノカドウカト思フ

(新上野園定規格尺(170x88x6))

江辺福島縣知事

雪害ノ問題モタ

林宮城縣知事

冷害、水害ノ程度ニモ依ル今度ノ水害デ

モ今迄ノ研究ニ依ル水位ニ依レバ……(以下不明)

ソウ金ヲカケテヤルニトハドウカト思ハレル

岩上秋田縣知事

之ハ國ノニカテヤツテ呉レルト去フノヤトスレバ良イ

ト思フ然シ豫算化サレルトキノ順位ニ付テハ考ヘルニシタイ

林宮城縣知事

次冷害防止林業施設ノ強化(以下發言

中岩手縣知事退場ニタルニ付記録セス)

江辺福島縣知事

之ハウント補助金出シテ貰フニトテアル良イト

思フ

岩上秋田縣知事

災害防止林ト云フノハ

林宮城縣知事

防潮林、防風林テアル

山内山形縣知事

有畜農業ハ良イト思フ

宇都宮東北局長

三浦元農林次官ハ有畜農業ヲヤツテ

宮 城 縣

貰ヒタイト云フ話ダツタガ

林宮城縣知事

農林省案ハ現在ヤツテオルモノ、擴張案

テアル

江辺福島縣知事

國立試驗場ヲ何處カニ造ラシカ仙石デモ

何處デモ良イ高農ニ通苗代アレハ困ル

山内山形縣知事

山形ハ縣會テ通苗代ヲ禁止シヨウト考テ

居ル

林宮城縣知事

此際秋田縣知事ニ敬意ヲ表スル秋田ハ

良クヤツテ居ツタ

農林省案ハ大

体ニ於テヤツテ貰ハハ良イト思フ

岩上秋田縣知事

ソウダ内務省ノ河川改修ハケシカラシ

林宮城縣知事

此際耕地ノ改良

岩上秋田縣知事

肥料ノ増産

宇都宮東北局長

國有林ハドウカ

(新上野館文庫第55一A10144444)

林宮城縣知事 文句ハ無イホ

岩上秋田縣知事 大分此ノ頃解放シテ呉レテ居ル

林宮城縣知事 次ノ高工省ノ四ノ案ガ現實ニ動イテ来レ
ハ自然ニ立地條件ノ整備ガ出来テ来ル

江辺福島縣知事 東北興業ヲ大キナモノニスルニトカ第一ダ
林宮城縣知事 各々ノ手テ出来ナイモノモアルノテアルカヲ國策

會社テアル東北興業ニ任セテヤツテ行クノガ第一ト思フ夫ニ付テハ
東北興業ヲ大キナモノニスルカ良イト思フト云フニト云フテ来タ

(陸軍工廠ノ建設ノ経緯ニ付説明サレタル後)
大キナ工場ヲ持ツテ来テモ下請工場カ出来テ居ラナイカラト云

フンダ結局現實ダケヲ見タダケノモトナシ
宇都宮東北局長 (發言ニタルモ聽取不能)

林宮城縣知事 農村ノ組織化ヲ後日ニ残シテ人口ノ増
殖ヲ云フニトハ現實ノ問題ニナランジヤナイカト云ツタ

入口問題ダケヲ東北六縣テ具体案ヲ作ルト云フニトハ極
メテ抽象的ニナル(以下不明)

山内山形縣知事 (發言ニタルモ不明)

宮城縣知事 立地條件ヲ(各縣ニ當ハメテ行クトナ
ルト却々難シイニトナル)

岩上秋田縣知事 中央テ決メテ貰フヨリ仕様ナイ

山内山形縣知事 之ハヤツテ貰フダネ

江辺福島縣知事 之ハ東北興業ヲヤツテ貰ハハ外ニ逃ケ
テ行カナイカラナ

林宮城縣知事 矢張東北興業ハ此ノ五年間ニ何物カ
ヲ残シテ發展サセテ居ル
江辺福島縣知事 猪苗代湖カ何處ニアルカ知ラヌ幹部
モ居ツタカ

(新上野歴史資料館一ノ二七七七)

林宮城縣知事 兎ニ角最后ニハ何處ニモヤルニトノアルモノカ東
北ニ答ケタト云フニトニナルニダ土木等ハ全クソウナンタカラ

岩上秋田縣知事 夫ハ東北振興ト銘打タナイニトニスル
宇都宮東北局長 此ノ案ハ總會ニカケレバ公表スルカ民間ノ人ノ
意見見モ知ツテ置ケハ良イト思フカノカ法ハ

林宮城縣知事 民間ノ意見ヲ聞クニシテモ立地條件ノ
懸備ヲ残シテ置クト云フニトハドウモロント來ナイニトニナル
宇都宮東北局長 工業分散ノ大綱カ決ツテ居レハ良イカ
決ツテ居ラナイノタカラ

林宮城縣知事 之ハ民間ノ意見ヲ特ニ聞カナクテハナラナイト
云フ建前ニナツテ居ルカナ
(茲テ鉄道省ト鉄道局、畜工省ト鑛山監督局ノ例ニ依リ
官廳側意見ノ樹立方針ト民間意見ノ反映ニ付説明
ス)

宮 城 縣

宇都宮東北局長 ソウテアル内容ニ於テハ知事ガ最モ良ク
知ツテ居ルノテ知事ノ意見見ヲ聞クニトニナル

岩上秋田縣知事 民間ノ人モ委員ニナツテ居ル代議士等
林宮城縣知事 一度官廳側又ノ連絡會ヲマツテ見ルカ
宇都宮東北局長 例ノ東北振興連絡協議會カ

岩上秋田縣知事 民間ノ意見見ヲ聞クトナルト縣會ニ聞クニトニナ
ル
山内山形縣知事 其ノ時ニハ具體的ノニトヲ聞クニトニナルカ
林宮城縣知事 夫張コノ後ノニトヲ聞クニトニナル

山内山形縣知事 夫テハ全シ事ニナル
林宮城縣知事 ノミナラス我々ノ意見ハ官廳側意見テハ
ナク民間ノ意見見モ含メテ出テ來テ居ルノタカラ更メテ聞ク
コトハネ

宇都宮東北局長 林様ノ云ハレタ官廳ノ懇談會カアルカ
新上野 國史館 1914.11.14 (第14号)

レヲヤルカ

林宮城縣知事

夫ハ一偏ヤツテ見テモ良イト思フ此ノ次ノブロック

會議ヲ仙臺ニ開イテ其ノ際ニ來テ戴クコトニスルカ

宇都宮東北局長

サウ御願スル期日ハ五月頃ニスルカ

岩上秋田縣知事

四月ハ駄目ダ總會ハ何時頃ヤルカ

宇都宮東北局長

五月上旬ニヤル積リデアル

岩上秋田縣知事

五月六日ハ御親授式カアル

林宮城縣知事

五月九日カラ塩ハ金様ニ籠ラニヤナラニカラ都

合カ悉イ五月四日過ナラ良イ

宇都宮東北局長

此ノ案ニ付テハ山内様ハ別トシテ特ニ御意

見ハナイカ之テ濟ムンダカ

林宮城縣知事

之テ濟ンダ

岩上秋田縣知事

林宮城縣知事

此ノ内トレガ残ルカ問題ニナル位ダ此ノ前ハ東

宮城縣

北振興ニ本當ニ使ハレタ金ハ少イモノダツタ

岩上秋田縣知事

東北振興トハツキリシタモノヲニツ位テ良イト

思フ

林宮城縣知事

君ノ方ハ八郎写トカネ

岩上秋田縣知事

アレハ一億圓タアレタテモネ

林宮城縣知事

難シイ港灣問題一ツヲ考ヘテ見タ場合テ

モ何處ヲヤレバ東北振興ニナルカト云フコトハ本當ニ難シイ

江辺福島縣知事

一縣一ヶ所ハドウカ

林宮城縣知事

テハ之テ終ルコトニスル夫々色々ナ問題カアルト

思フカラ意見カアレバ東北局長ニ提出シテ貰ヒタイ

夫カラ七年度ノ六縣共同經費豫算ノ印刷物ヲ御手許

ニ差上ケタカラ夫々依リ御承認願ヒタイ

和泉宮城縣庶務課長 (豫算案ノ内容ヲ説明ス)

各縣知事 異議ナイ

(新上野町史編纂部「新上野町史」)

林宮城縣知事 兎ニ角フロック會議デ勉強スルノハ東北夕
岩上秋田縣知事 一週リ廻ツタエトモアルニ次東京テ開テ貰ヒ

江刃福島縣知事 送擧ノ報告モセネバナランニ其ノ時東京テヤルカ
林宮城縣知事 次田ハ東北局テヤルトキニ開クエトニスル

宇都宮東北局長 和ノ方ハノ會議ハ午後ニナル
林宮城縣知事 之ヲ終了スル

江刃福島縣知事 テハ彼處ニ行ツテ見ルカ
林宮城縣知事 折角此處迄來タノ夕阿武隈堤防見物祭ニヨリ

終了后林宮城縣知事ハ福島縣廳詰新聞記者團ト
會見會議ノ狀況ニ付説明ス
終了 午後四時

宮 城 縣

(新上野園定額券四一八〇×四七五紙)

(原寸正) 江戸幕府文書 上巻

宮
城
縣

庚子年八月

局長



書記官



案

年 月 日

渡邊書記官

高成林 總務部長

(署名)

豫之出航意ヲ研候事此後共謀協成会ヲ来ル五月
二十日(水曜) 岡備教度候ニ付 志願者ヲ右記出参上
招来方出航意ヲ研度出航意ヲ研貴意候

六月三日午前十時開会

一 協成

一 会食 (是日長官退席不有為用会方)

一 協成

一 招宴 (在出見兼律大合祀)

一 以上二通り去年名ノ調製(カ結成)ト

一 為日ノ協成中須有ハ進分何合セノ行是

一 東北地方振興計画ハ甲府中ニ行進ノ送付ノ行是

一 経来ノ会食以外ノ人ヲ加ルルニ香々ハ進分協成ノ行是

一 尚日(十九日)去仙社之何合セノ行是

内閣東庶第一八號

昭和十七年五月八日

内閣東北局書記官 渡邊 勇二郎

宮城縣總務部長 久安 博忠 殿

豫テ御配置ヲ仰候東北振興聯絡協議會ヲ來ル五月二十日（水曜日）
貴廳ニ於テ開催致度候ニ付恐縮ナガラ左記御参照ノ上招集方御配置ヲ
得度御依頼幸々御留意候

記

一、五月二十日午前十時開會

一、協 議

一、審 査（東北局長有権特製辦常用意方）

一、協 議

一、招 宴（東北興業株式会社）

一、以上ニ依リ出席者ノ調査ヲ得度キコト

一、當日ノ協議事項等ハ追テ打合セノ豫定

一、當日附屬スベキ東北地方振興計畫要綱ハ當局ニ於テ準備中ニ付近ク送

付ノ豫定

一、從來ノ會員以外ノ人ヲ加フルヤ否ヤハ追テ協議ノ豫定

一、前日（十九日）出仙種々打合セノ意備

内閣

17.6.22

供覽

庶 外

昭和十七年六月十六日

官 城 縣 庶 務 課

長 官 印

内閣東北局

渡 邊 書 記 官 殿

東北振興聯絡協議會ニ關スル件

五月二十日本縣廳ニ於テ開催シタル原記協議會ニ於ケル協議要領別紙ノ通作製ニ付爲參考送付候

局 長



書記官



宮 城 縣

裏面白紙

昭和十七年五月二十日 (於宮城縣廳)

東北振興聯絡協議會協議要領

宮城縣

東北振興聯絡協議會出席者名簿

會 員

内閣東北局長	宇都部百孝平
同 書記官	渡邊男二郎
仙臺土木出張所長	西田敏夫
仙臺財務新局長	榎谷孝貞
東北帝大工学部長	宮城音五郎
積善地方農村經濟調査所長	山口弘道
青森營林局長	矢部立志郎
秋田營林局長	梶田最
東京營林局長	中尾桂一郎
仙臺山盛局長	山田秀三
仙臺通信局長	伊藤敏行
仙臺通信局長	吉澤武雄
仙臺通信局長	野尻茂治
新潟鐵道局長	三富秀夫
仙臺鐵道局長	大船泰壽郎
鐵道省東京第二工務事務所長	大木利彦
鐵道省盛岡工務事務所計費部長	大谷勝
官城縣知事	林信夫
福島縣知事	江邊清夫
岩手縣知事	山内善文
青森縣知事	山田俊介
山形縣知事	山内健喜
秋田縣知事	岩上夫美雄
東北興業株式會社社長	川邊丈雄
同 副社長	森原幹根
東北配電株式會社社長	橋本萬之介
同 業務部長	畑本時雄
日本発送電株式會社東北支店長	長南三稅

渡邊東北局書記官 只今ヨリ開會スル

林宮城縣知事 本日東北振興聯絡協議會ヲ開催スルニ

當リ多忙、折柄ニモ不拘多敷御出席、得テ感謝ニ堪ヘナイ

東北振興聯絡協議會ハ各官廳ノ意見ヲ交換シ東北局

ニ於ケル計畫主要上ノ参考トシ又地元ニ於ケル事業施行上

ノ参考ニ資スル目的ニテ昭和十五年一月東北六縣總務部

長外來集協議シ其ノ後會員所屬ノ幹事ノ推薦ヲ受

ケ昭和十五年五月幹事會ヲ開キ更ニ同年六月會員

來集ノ上會員ノ組織及會則ヲ決メ東北振興聯絡協議

會ハ設立セラレタノデアル

其ノ後會員ノ出入ガ多ク當時ノ會員中僅ワテ五ノハ一

ニ人ニナリテキル

東北振興第二期計畫ノ具體化ニ伴ヒ昭和十六年十月幹

事會ヲ開イタガ今回計畫要綱モ決定セラレタノテ之ニ付テ

各位ノ御研究 御意見ヲ承リ東北局ノ最後案御決定

ノ資料トシモウ一ツハ各官廳ハ御懇談ノ内ニ仕事ノ上ノ聯

絡ヲ深ノ圓滑ナ事業遂行ヲ期シタイ此ノ會議ハ別ニ

固クナラズニ御懇談ヲ願ヒナイ

以上會議ノ經過ヲ述ベテ御挨拶トスル

早都宮東北局長 座長ハ林宮城縣知事ニ才願シタイ

林宮城縣知事 會議ノ進行ヲ才世話スルコトニスル

東北振興計畫ノ概要ニ付テ東北局長ヨリ御説

明願ヒナイ

早都宮東北局長 東北振興計畫ノ概要ヲ申上ケル

昭和九年ノ冷害ヲ機トシ東北振興計畫ハ具體化セラレ國ノ

豫算ヲ以テ施行セラル、部会ト東北振興兩會社ヲ作

シケリテヤラシムル部会トニツ、行方テアツタ、兩會社ハ國

(新上野國定郵便局一八〇〇二二番)

業會社トシテハ内地最初ノモノデアツタ其ノ内東北振興電
 力會社ハ昨年十二月一日日發ニ併合セラレタガ日發デモ東
 北振興計畫ノ趣旨ヲ繼イテ仕事ヲ進メテ平ル
 興業會社ハ現在出資額ニ千萬元投資額一千万円事業
 ノ種目モ五十餘ニ上リ大体順調ニ進行シテ平ル詳細ハ總
 裁ヨリ說明カアル等デアル

國ノ事業ハ昭和九年ハ冷害慮急ニ昭和十年ハ暫定的小規
 模昭和十一年ハ稍恒久的トナリ昭和十二年ヨリ十六年ノ五
 年ハ恒人對策トシテ計畫セラレ五年間テ約ニ億円ノ豫定
 デアツタノ豫算化サレタノハ約半分弱デアル此ノ内ニハ全
 國約十百業ヲ入レテアルノテ東北特有ノモノハ最初ノ一部
 五分位デアル事業ノ種類ハ非常ニ多クハ詳細ハ印刷物(東
 北振興經過概要)ニアル

昭 和 十 二 年 度 宮 城 縣

昭和十七年度ヨリ第二期計畫ヲ實施スル豫定デアツタガ昭
 和十七年度ハ豫算カ樹ノナカツタ國ノ豫算ノ準備ハアツタ
 カ調査會カ出來ナカツタ政府ニ調査會ヲ作ル者ノナカ
 ツタノデアアル昨年末調査會ノ官制カ出來タ調査會カナ
 ノテハ計畫ノ出來ヌノガ我國ノ現状デアアル目下第二期計
 畫トシテ昭和十六年度カラ計畫ヲ進メテ平ル

調査會ハ臨時東北地方振興計畫調査會ト稱シ本年何々
 會議ヲ開イタ其ノ際東條總理大臣ハ「東北地方ハ地理
 的ニ恵マレス又災害モ多クイ之ハ同地方ノ不幸デアルハカリ
 」「ナリ我國ノ不幸デアル此ノ實狀ニ鑑ミ如何ナル計畫
 」「ヲ樹フベキカヲ調査會ノ調査ニ求ムルノデアアル」トノ挨拶カ
 アツタ

其ノ後特別委員會 幹事會ヲ開キ或ハ聯合ハ大体以
 案ヲ得タ案ハ幹事試案ヲ基トシテ東北局カ幹事トシテ

(新上野國定資料館 昭和十七年度)

委員會幹事會東北地方官廳其他之意見ヲ承酌
シテ作製シタモ、テ只今マデノモ、ハ東北地方振興計畫
要綱ノ通テアル本要綱ハ本月六日、特別委員會ニ附
議シタリテ新聞ニハ計畫要綱トシテ發表シ數字ハ出サ
カフタ

綱目ハ

- 一 振興精神ノ作興
- 二 人口ノ増殖ト資質ノ向上
- 三 食糧ノ増産
- 四 資源ノ開發利用及工業ノ建設
- 五 開發立地條件ノ整備
- 六 東北興業株式會社ノ機能強化
- ノ六項目デ一カラ三マデハ數字ヲ掲ケ得ルマデニ調査カ進シ
テナルケ四五六ニ付テハマダ決ツテ居ラス之ハ更ニ特別委員

宮 城 縣

會ヲ開イテ調査スルコトニテ本日本日、會議ニ於テ御
意見ヲ承ハレバ此ノ調査上洵ニ幸テアル、勿論此ノ調査
ニ於テ各省業ノ基ハ皆様、御意見ニテアラサト思フカ此ノ
業ニ付此ノ會合ノ外ニ地之、御意見ヲ聞ク計畫ハ
考ヘテ居ラスノテ充令御意見ノ交換ヲ願ヒタリ、此ノ
會議ハ計畫バカリデナク實行上ノ連絡ノ爲テナルコトデ
モアルシ...

調査會、方々未月上旬一應答申ケシ昭和十八年度豫
算ニ関スルモノハ要求シ更ニ詳細ニ調査ヲ進メテ行ノ計
畫デアル國ノ方ノ計畫ハ以上ノ通テアルガ之ノミテハ東北
振興ハ出來ヌ更ニ民間ノ協力ヲ得ネハテラス之ニ付テハ
別ニ考慮シテナル

林宮城縣知事 東北興業會社ノ設立以來今日マデノ
概況ヲ承ハリタリ

桑原東北興業副總裁

會社ノ事業、付簡單ニ申上ケル

昭和九年、冷害直後、振興調査會ニ於テ審議、結果官廳、財界有力者、協力ニ依リ、東北振興兩會社が出来タノデアアル之ハ内地ニ於テ國策會社ノトツブカ切ツテ會社デアアル

東北地方ハ有利ナ水カ發電ノ地點ガ多ク、今、今日マデ五年餘シテ産業ノ振興ヲ圖ル計畫デアツタ、今日マデ五年餘大體順調ニ進展シテ、各役、御支後ノ賜デアリ感謝ニ堪ヘナイ

會社設立ハ昭和十一年十一月マデ十五年マデ第一期十六年ヨリ十九年マデ第二期トシテ經營シテ、詳細ハ配付シタ印刷物ニ説明ノ通デアアル

五年餘ノ間各種ノ事業ニ關係シテ、最近モ大キテ出資會社デアアル振興電力會社ハ日發ニ併合セラレ、現在ハ

宮城縣

日發ニ出資シテ、日發ニ於テハ東北振興ノ趣旨ヲ體シテ、仕事ヲスルニトニナツテ、高キ事業ハ開業樹ノ利用テ、秋田石巻ニ工場ヲ作リ、月下洞窟ニ動イテ、燃料ノ關係デ若干支障ヲ來シ、又、陸奥ノ不足、テ人謂バルバ、工程ニ支障ヲ來シテ、人謂ハ南方方面へ輸出セネバ、ナラヌ、人謂バルバノ製造ハ緊要デアアル

輕金屬アルミニエー、ムノ電解ヲマツテ、高東北興業會社デ、持ツ會社ヲ造リ、南方カラ資材ヲ入レテ、作業スル計畫デアアル、之ハ未ダ内部デ研究中ノモノデ、東北局ニモ口頭デ話シテアル、又マダ、ネシムムハ、酒田ニ工場ヲ造リ、昨年カラ採業ヲ開始シ、大體順調ニ行ツテ、アル

肥料製造ハ會社別立、重要事項、資本金二十萬圓ノ振興化學株式會社ヲ造リ、石灰窒素ノ製造ヲシ

硫酸ニ付テハ八戸ノ日東化學工業朝日化學工業
各五萬噸位作ツテキル朝日化學工業ハ農林省ノ斡旋
ニ依リ資本的加入ヲ見タリテアル

アルニシテ付テハ無水アルニシテ製造ク直營スルコトニ
シテアツタガ外ニ投資事業トシテアツタニシテアル
ソテキル之ハ特尙。適切ニ仕事テアル

電源ノ開發ニ從テ特尙。必要ニ特殊工業ヲ興スコト、
日曹關係ノコラシム製造工業ヲ買收近ノ操業ヲ開
始スル

鑛山ノ方ニ會社ノ直營ヲ以テ金山、製鍊石炭、亜炭等ヲ
經營シテキル

機械工業ハ東北ハ大分遅レニキル東北興業會社設立以
來相當進歩シテキル而シテ作業能力カ一定水準ニ到ル上
素材カラ製品マデ一貫シテ造リ得ル様ニシテ行キタイ

宮 城 縣

農業經營合理化ノタメニハ農機具會社ヲ作ツテキルガ從來
東北地方以外ニ製品ヲ送り又ハ東北地方以外ニ使用スル
農機具ヲ造ツテキル今後ハ東北地方ニ必要ニ農機具
ヲ造リキル令後トシムル様ニスル水産關係ニハ直
營トシテ船ヲ作リ貨付ヲシ又別ニ會社ヲ設立シテ漁
業經營ヲマラシメ食糧生産ニ貢獻シテキル昨今ハ燃料
不足ニテ餘リ活動出來ぬ高工大匠ノ話ハ近ク戰前、
又割程度ノ配給ヲスルトノコトニアル。又南方ニ有利ニ漁
場ヲ開拓シ得ルノテ其ノ節ハ大ニ活動シ得ルコト、思フ
其ノ他水産皮革、再生ゴム等、會社ヲ經營シテキル再
生ゴムニ付テハ今後其ノ經營ヲ換ヘル必要ガアル
冬季防止關係事業トシテハ東北碍子テ新庄ノ粘土カ利
用シ三百萬噸乃至四百萬噸ノ土管ヲ製造スルコト、シ工
場ヲ建設中ニアル

(昭和十一年四月二十二日)

以上ノ通直營事業二十餘、子會社四十餘ヲ廣範圍ニ亘
ツテ居リ、何レモ適切ノ事業ヲ而カモ相當ノ成績ヲ揚揚シ
テキル之備ニ皆採、御督折ノ賜ヲ感謝ニ湛ヘナイ、今後
共ニ會ノ御助力カク御願スル

林宮成縣知事

順序トシテ東北地方振興調査會ノ調査

内容ノ說明ニ入ツテ方ゴイト思フガ、仙臺鑛山監督局長

ニ年後出府出来ストノコトニアルカク、鑛山監督局長、御意

見テ承ルコトニシタイ

山田仙臺鑛山監督局長 振興計畫要項四

資源ノ開發利用及工業ノ建設ニ地下資源ヲ擧ゲテキルガ

東北地方ニハ地下資源ハ相當ニアル只資材勞力等ノ關係ヲ

充分ニ開發カ出来テ居ラズ各位ノ綜合シテ努力ニ依リ開發

シ得ラレルコト、思フ

銅鉛亜鉛ハ物効計畫上苦勞ヲシテキル資源ヲ東北地方

宮 城 縣

ニアルモノハ是非開發シテハナラズ銅ハ奥州山脈ニ鉛亞

鉛モソコ多クハナイカ出来ル秋田縣下ニ銅ト一所ニ出来ル

秋田縣下ニ銅ト一所ニ出来ル此ノ資源ハ東北興業會社ニ開發シテ

キル

小鑛山モ大分アル秋田縣ノミテモ經メルト大鑛山ニ區散スル程ニ

ナルノデ小鑛山ノ開發モ急ニ出来ヌ

福島縣山地山利縣越後等ニモ豐富ニ地下資源カアルカク又

通ノ關係テ開發カ出来ヌ鑛物一噸ニ二百數十円ノ輸送費ヲ

要スル一例モアル

硫黃ハ東北地方ノ特産トモ云フベキデ日本ノ半分生産スル

砂鐵ノ製鍊ハモヤ一步ト云フ所テアル之カ成功スレバ大キナ

精密工業ノ出来ルキヲカゲトナル

亞炭ハ東北各地ニ石炭ハ常盤炭山其ノ他ニアル一般ニ東北ハ

鑛業上未開發ノ狀態ニアル之ハ東北ニ工作機械ノ出来ヌク

(新上野國文館刊 114 x 114 号)

メテアル 東北地方デハ工作機械、動イテキルモノモナイ
 東北ハ機械工業發達ノ下地ガ出来テ居ラヌ日主ノ機械工業ハ
 鑛山機械ノ修理カラ發達シタノデアル
 化學工業モ日本最大ノ硫黃ノ産出ガアツナガリ其ノ儘滿
 洲・朝鮮ニ送ツテ何ニモナイ、而カモ今ハ輸送ノ關係デ
 其シモ送レズニ困ツテキル状態デアル
 鑛業ノ開發。一層ノ御協力ヲオ願シタイ
 林官成縣知事 計畫要綱四項以降ノ問題ニ付協議ヲ
 進メタイ

要項ノ概要ニ付御説明ヲオ願シタイ

宇都宮東北局長 仙臺鑛山監督局長サン外ニ御意見ハ

山田仙臺鑛山監督局長 正直ニ此ノ要綱ガキレノモリデハ何ニモナラス
 根本的ニ鐵道ノ敷設デアル鑛山ノ開發ハレール一本デ出来ル
 東北ノ交通網ハ不充余デアル

宮 城 縣

宇都宮東北局長 探鑛ヲ大規模ニヤラシメタイト思フガ

山田仙臺鑛山監督局長 現在ノ資材ト勞力トハ仲々出来ヌ國ガ探
 鑛ノ方針ヲ採ソテ充余ヤルコトオ必要デアル

宇都宮東北局長 ソレハ非常ニ必要ナコトト存ハラレル高工
 省ノ方ヘモ進シテ貰ヒタイ

本縣道者東京第三番事務所長 福島縣山地ノ地下資源ノ才話ガアツタガ鑛
 量ハ秘シキニセラレテ仲々オ示シエナラヌノニ困ルコトガアル

山田仙臺鑛山監督局長 鑛量ハ仲々解ラヌモノデアハ出来ル限リ調
 査ノ上オ知ラセスル

中尾東京營林局長 昨年来ガツリシラ度ツテ木材、木炭ノ搬出ヲ
 シテ半ノ餘ヲ搬出出来ヌ、福島縣山地ノ方ハ鐵道ガ敷設モラレ

ルコトナレバ同方面ノ國有林資材ノ充余ニ搬出出来ルガ
 大木鐵道者東京第三番事務所長 今當方テ計畫シテキル線路、御話ノ方ハ通ラズ

併シ相隣近イ所ヲ通ルコトナレト思フ

(新上野國定資料館一八二〇年刊)

林宮城縣知事

其し等ノ豫定線ノ優劣順位ノ調査會

ニ通ズルコトガ必要ナル此ノ協議會ハ此ノ意味ニ於テモ大事ア
モノデアル

宇都宮東北局長

振興計畫要綱ハ外ニ發表スルトモハ大分簡

單ニシ又委員會ニ於テ豫定線順位ノ如キハ出サヌコトニスルガ答
申スルトモハ其ノ調査ハ添付スル

大谷鐵道理事重吉齊茂

議會カラモ鐵道敷設ノ請願カアルカ總汎主義

テ重點主義ニ反スル此ノ協議會ニ於テハ重點主義ニ依ッテ計畫ヲ
進メルコトニシタイ

林宮城縣知事

第一期計畫ヲ參考トシ鑛山ト鐵道ノ開

發ニ鑑ミ優良ナル鑛山ヲ開發スル鐵道ヲ優劣敷設セラルノ標榜
望スル特開ノ都合ニ依リ之ニ休想スル

「午前十一時五十五分」

宮 城 縣

午後一時十分

林宮城縣知事

再開スル東北局ヨリ御手元ニ配付シタ

計畫要項ニ付御説明願フコトニスル

川越東北世業株式會社總裁

先程福島西部ノ鐵道ニ關スル話ガアツタ

ガアノ地點ハ鑛區ノ開發ト森林資源ノ開發ノ外ニ水カ電氣
ノ開發テ非常ニ大切ナ所デアリ先年東北地方知事會

議ノ際ノ決議ニモ開發ノ意見ハ出タ奔電地點デアルガ夫
カ遲シテ居ルハ交通ノ開發ニ依ルトコロ大デアリ先程ノ話テ

非常ニ力強ク感ジシ次第デアリ

只是川ハ將來數十萬キロノ奔電地點デアリ東北振興ヲ
ヤル上ニハ重要ナル地點デアリカウ充ルキテ戴キタイ

又水カ電氣カ大郡余東京ニ持ッテ行カレルハ止ヲ得タイガ
幾分カ東北振興ノ爲ニ殊ニサレ度アノ地點ハ鑛山ノ開發

ト木材ノ開發以外ニ電力ノ開發ト云フコトモアルト御記憶

(前上ノ圖定規格四一八×二五七)

願ヒメイ

半蔵宮内閣長官長 計畫要項ニ付説明スル其ノ前ニ御手許ニ配
付シテ諮問業々御覽願ヒメイ

此ノ諮問第一號ハ出テノニ對シテ東北振興計畫ノ答申ハ出來テ
ハテイル

別紙諮問業々朗讀

全般的ニ申ヒテハ此ノ要綱ニ答申ノ全部ヲ終ルノハハ
イテアル差當リ十八年度ノ介ニ付テ學費ヲノテアル其ノ
他に付テハ更ニ調査ニ行テ

色ニテ項目ヲ詳シム五レヨリモ重點主義ヲ行テ又全般的ニ
行ハレルモノヲ計畫ニトセルコトハサヤテ東北特有ノモノクハ行
ハフトニシテ然レ東北火災ノモノニ限ルコトニムルコトハサヤ
ニナルノテ全般的ニ行ハレルモノニモ東北ニ必要ナモノハ揚ゲル
方針ニムル

宮 城 縣

國土計畫及地方計畫ハ中央地方ニ於テハ居ルノハ夫ガ決
ソテカラ計畫ノ樹ニルノガ一番良イノテアルガ夫ガ何時ニナル
カ夫ガ見當ガ付カナイノテ其ノ立案ニ當ソテ居ル者ト連
絡ヲ執リ計畫ヲ進メテ行テ

又地方費負担ノ道重々ヤナル様ニシタコト
東北興業株式會社ノ擴充コト圖ルコト
ト云フ様ニ詳シ比ノ業々外ソニ來ソ

第一調査目標ハ方法ハ色々アルカハ三ツ丈ニ掲ゲテ居ル
地方ニ優待ナル教員ヲ配置スルコト又東北更新會ノ治
勢ヲ促ソコトモ考ヘテ居ル生活刷新ト云フ意味テアル

第二東北ノ人口資源ノ優劣ナルコトハ御承知ノ通ニアル厚
生省ノ調査ニ依レバ自然増加率モ全國一デアリ少カ北海道
東山道北陸道ニ近幾カ一番少イ夫モ不妊死産率乳幼
兒死亡率モ全國一番多イノテ其ノ點ヲ考ヘテ行クコト

(新上ノ調査規格ニハナクニテ)

ニシタイ

三東北ニ結核罹病率ハ現在ハ大衰イテイガ重要タナリワ、アルノ
ヲ今、内、對策ヲ講ズル

(四)結婚ノ奨励ヲアルカ東北地方ハ男女共ニ尙早令カ若ク早ク
結婚スルニ然レテ御承知ノ様ニ全國約ニ三年早クスルヲホカ
見ルト更ニ早クスルニ要カアル

夫ニ依ルト男ガニ四歳女ニ一歳ニアルカ東北ハ男ニ六歳女
ニ三歳ニ歳ヲ、クナイカラ之ヲ早クスル
食糧ノ増産

重要主義ニ行クコト、ニ農産物ノ増産ヲ圖ルコト、スルハ災害
ヲ防除スルニ意味ヲ氣象豫防、冷害防止施設等色ニヤコ
トヲ考ヘテ居ル調月ハ

ニ寒冷地農業ノ指導
々耕地ノ改良

ニ夫産地ノ開発

宮 城 縣

一河川ニ約 九三〇〇萬圓

二砂防ニ約 八〇〇萬圓

三災害土木関係 一六〇〇萬圓

合計 治水ハ内務省 一六六〇〇萬圓

農林省関係ノ治水ハ 九〇〇萬圓トナル

ク國有林野ノ利用

四五六ハ災程申上ケテ通内各ハ入ワテ居マセン

一應大体ニアル之ニ付テ充分ノ御意見ヲ承ハリタイ特ニ

四五六ニ付テ御願シタイ

(別紙四五六所讀簡草ニ記ス)

林宮城縣知事 三造、業ニ女子醫專カ入ワテタイガ

之ハ文部省ニ入レルト云フ譯ニアツタガ

(新上リ編定規格紙一八〇×二四〇)

宇都宮東北局長 文部省ニ考ヘテルガヤルトナルト仲マ

林宮城縣知事 之ハ東北六縣知事ノ會議ニ是菲ヤワテ

賞ヒタイト云フ澤テ僕ハ之ハ入ラテ居ルガラウト云フ話

シテ居ノタガ之ハ入レルト云フ澤テアツタガナ

宇都宮東北局長 夫ガヤケハ歸ラテ見ルト却々出来ナイ

渡辺東北局書記官 軍企劃院トモ關係アリ計畫ガ具体化

シテカラ揚ゲルノデアル

林宮城縣知事 夫ナラ話ハ判ル

宇都宮東北局長 文部省ハヤルト云フハクナリ未ダ何モ出来

テナイ

林宮城縣知事 之ハ六縣デ強イ要望デアラマ是非マワ

テ世ヒタイ

三途ノ問題ハ或ハ此皆様ノ方ニ直接御關係ノ無イ方モアリ

大体決ソテ居ルコトデモアリ四以下ノ問題ニ付主トシテ御

宮 城 縣

意見ハ同トニル

近江仙臺ニ出張所長 第三項ノ治水ニ關シテハアルガ河川及修築砂

防ノコト今御話ノモハ五ニ年計畫ノ經費デアルク又今道ノ河

川ノ余モ入ラテ居ルカ

宇都宮東北局長 新レイノモ入ラテ居ルケ古イノ、採上ガ、余ニアル

宮城東北局長 私本日ハ縣長ノ代理トシテ出席シテアル

カ此ノ業ニ農學研究所ノ擴充ト云フコトガアルカ夫ノ關シテ

長カラ頼マレテコトガアルカ夫ハ農學部ノ設置シテ欲イト

云フ希望デアル

實ハ此ニハ學部ヲ希望、フガ研究所ガ出来テ次第ニテ研

究所ノ所謂研究スル為ノモ、チアリ一取ニ普及スル為ニハ學部

テナイト不味コトニテ農學ノ開弁其ノ他ヲ具體的ニ全國

ニ擴メテトスルニハ學部ガ必要デアルガ茲ニ學部ノコトケウダ

ソテ無イ、之ハ研究所ノ擴充ニ行テ積リテアルカ、學部ガ意カ

(新上野國定稿第121頁(2000年))

テ研究所大ナルハ片手巻ニシテ不學部ハ昨年七月要
項ヲ印刷シテ各關係ノ向ヘ配付シテアル

宇都宮東北局長

學務ノ設置ハ却々難シイ様ダ

林宮成務知事

私リ申上ケルハ如何カト思ハレルガ月

下研究所大ナルハ如何ナル形ニ於テ表ハレルカハ見エ
テアル此ノ業ニモ消シテアルハ意味ノアルトコロデア

宇都宮東北局長

経費ノ数字ハ之ニ對スル資材トク勞力トク

ヲ考ヘテ業デアルカ

宇都宮東北局長

夫ハ考慮ハシテ居ルカ未ク關係方面ノ

折衝ハ出来ヌ

全額ニ付テハ大藏省ニ話シテハアル

宇都宮東北局長

資材不足ニ困リ居ル之ハ今后ニ残ルコ

トニトルカ

宇都宮東北局長

從來大藏省ハ然ラテ居タガ通順ニ書面ニ

意見ヲ吳レル様ニトフナ

宮 城 縣

山口積雪地方調査所長

開拓助成ニ如何ナル費用カ

渡辺東北局書記官

東北ノ余場ノ如クモハ濱洲ニ導造

山口積雪地方調査所長

農林省ノ介村ト同ジモノカ

渡辺東北局書記官

ソウデア

宇都宮東北局長

農林省正化ハ桐膏考慮ヲ要スル問題ニ

ナル

山口積雪地方調査所長

天然資源ノ利用ト云フコトニナルガ私達ノ考

ハ未熟デアアルガ纖維資源ヲ天然ノ儘集メルコトニナルト採算カ

合ハナイノテ或程度人口ノ管理ヲヤルト云フコトニナルト何

年ノ後ニハ或程度ノモノガ因ワテ得ラレルコトニナル例ハ山菜

類ノ中ニ纖維資源ニナルモノガアル今年ハ國有林ノ中ニ實驗

シテ見タイト思フテ今ヤツテ居ル

東京農林局長

今ノ飼料ト食糧トク云フ話ニアフダガ

(新上野文庫部五二六〇七七七)

示、種、務、ト、カ、國民、學校、ノ、生徒、ヲ、動員、シ、テ、集、メ、タ、コト、ガ、ア
ル、ガ、採、算、ヲ、考、ヘ、ル、ト、ト、ウ、モ、ウ、マ、ク、ナ、イ、

國、有、林、内、ニ、自、給、自、足、ノ、意、味、ヲ、奉、呈、著、類、ヲ、造、ル、コト、ヲ
ヤ、ソ、モ、居、ル、

林宮城縣知事 池ニナケレバ四以降ノ問題ニ入ル鐵道ノ
御船君ノ御意見ハナシカ

御船台鐵道局運輸部長 本日ハ局長ノ事故ノ為私出席シタリテアルカ
鐵道ノ建設改良ハ改良事務所ノ方ガ主管理テアリ我々ノ方ハ營

業デアリテ工事ヲ務所ノ方カラ話スルノガ適切ト思ハレハ
近頃鐵道ノ輸送ハ非常ニ増ヘテ居、事業前ノ昭和十一年ト比

較スルト大体ニ倍ニテ居、貨物ハ稍落ケニ倍ニ近イモノニテ
ワテ居、其ノ増ヘ方モ山鐵管内ニ特ニ著シイ反對ニ輸送力

ト云ヒマス、建設改良トリカ輸送量ニ比例シテ參ラナイノガ
遺憾デア、管内ノ輸送力カ不足テ困ワテ居、ハ山鹿小牛

宮城縣

田岡洋シフ云ヘバ岩切ト小牛田間、岩切カ、向ハ單線デア
リ輸送量カ多クテ力カ盡イノテ最大限度迄利用サレテ居、ル

之ニ付ハ盛岡ノ方カラ詳シク話シ買フコトニシタイ、夫カラ
白河郡山ノ間、此處モ早晚複線ニシタイ考ヘテ居、ル北ニ

行フテ弘前、青森間モ複線ニシタイ考ヘテ居、ル以上ハ本線
ヲ複線ニスルトコトアル、管内ハ支線カ非常ニ多ク、其ノ

沿線ノ重要物資カ多ク、支線ハ路線ノ規格カ色々デア、ルガ
大体ニ於テ低イノテ輸送力カ少ナイノデア、ル、最モ著シイハ

山田線、現、在、輸、送、難、ヲ、弱、ク、テ、居、ル、次、第、テ、アル、次、大、船
渡線デア、ル

今申ヒテ、線ハ鐵道トシテモ輸送力ノ強化ヲ圖ラネバ
ナシ、以、貨、物、ノ、許、ス、限、ノ、實、現、カ、期、シ、メ、イ、ガ、全、面、的、ニ、充、テ、サ

レ、ナイ、ト、云、フ、實、狀、ニ、アル、カ、機、関、車、貨、車、モ、亦、其、心、ヲ、保、ニ
線路ガソウ云ツ状態デア、ルカ、

(新上野駅開業後51年(1907年)時)

ハ行クハ結局列車ノ数量ヲ増シテ凡エル努力ヲ拂フニ居
ル次第ナリトシテ今般般ニ申上ケルト将来更ニ車輛ノ増加ヲ
シテ買ハルト思ヒマスニ最高度ニ利用スル様ニシテ輸送
力ノ強化ニ努メタイ

建設線テアルガ之ハ工事事務所カラ御願スル

林宮城縣知事

鐵道全体トシテ御出席ノ方カラ

大木又宗第一事務所長

私共ニヤル工事ハ改良費ト建設費ニヤツテ居
ル改良費ハ益金建設費ハ公債ニ又辨スル建前ニ益金ノ多クイ
トキハ改良費ニ加ヘテ来テ物資ノ多クイトキハ改良工事ハ非常
ニ樂テアルガ本年カラ少シクハ新屋ニナルベシ心配シテ居ル幹
線ノ強化ト云フコトハ豫算ノ關係ノコトモアリ残念ニ思フニ
后ル建設費ノ方ハ公債ノ關係ニ資金不足ノナクハテ十七
年度ニ新規ニ入ッテ線ハ東北ニハ意ヲ北海道外三線ノミテ
マツタ今年ノ豫定線ハ何レモ地下埋藏物ノ關係ニ重工

業ノ開奉ニ必要鉄クコトノ出来ナイト云フニ其ハカクテアツタ
建設費一ハマシ萬円改良費セシマシ萬円テアル昨年度ハ改
良費カクシカクツカテ建設費ハ少クカクシテ數年前ハ東北地方ニ
モ隨今入ッテコトモアツタ其ノ後建設費ノ削減又ハ重懸
主義ノ結果少クナツタ末々ニテ之カラ入レ様ト云フ線ハ何レ
ニ重懸主義ニ國家的ニ必要鉄クコトノ出来ナイモノテナイ限
リ入ルコトハ難シイト思フ

宮城縣

積雪地方ハ特ニ線路網ガ密テナケレバナラヌト云フ意見ニアル
各方面ニモ認ムラレテアリ建設費當局ニモ考ヘテ居ル
亦考ヘ申上ケルガ北海道ハ拓殖費カアリ建設費ノ利子又
押アゴトニシテ鐵道ヲ敷設シテノチ東北ニ比シテ線路網ガ密
ニナラテ居ル東北ニ於テ之等ハコトヲ考ヘ慮シテ建設ノコトニシ
テハドントモカ

林宮城縣知事

振興調査會ヲ持上ツテ来ルモノハ別途ヲ

（新上り調査報告第一〇二五九號）

ンテヤフテ莫フト云フ所迄ヤフテ莫フト云フハ大縣知事ノ
希望ナシテス此ノ點ヲ強調シテ裁キタイ行ス夫テナイト調
査會ヲ設ケテヒ日ケテイト思フシ程ノ話ニマアフタ
様ニ何ノ清點カラ見エモブツカタモハ別ノ板デヤフテ行ケ様
ニ仕度イモテアル

宇都宮東北局長 其通テアル東北ニ持テ必要ナモハ別ノ板
テヤル様ニ仕度イ

樟本盛岡事務所長 鐵道ニ開スルモノデハ此ノ前ハ餘一徹底シテ
カツノ其ノ局ニ貴限シナカツタ新線モ何者アルシテスネ

林宮城縣知事 全國平均トシテマラレル以テ別ニ出シテ世莫フ
ト云フ基本觀念ナク御相談願フト云フコトガ近道ト思フ
大木東平第二重警所長 全國一般カラ入レルハ資材ノ關係ニアリ困
難ト思ハレルカラ最モ手近トシテ私業カアルガ政府
於テ買収スルコトニシテ私設鐵道ノ建設シテハトウカ

宮 城 縣

宇都宮東北局長 東北ノ私設鐵道ハ全國ニ一番遅レテ居ルラ
ニイニノニ

大木東平第二重警所長 ソウニス

林宮城縣知事 新潟鐵道局カラ何カ

三宮新潟鐵道局長 東北地方トシニハニ縣ノミニ關係ケ薄イノテ
持ニ東北振興ニ付計畫ヲ持ツ居ルモハ意イ御注文カアレバ
充分期待ニ滿副ツケ御開セク願ヒタイト思フ

山内山形縣知事 山形ノ板谷ノトンネルニスガアレハ奥月本線
ノ能率ニモ劣響ケアルアレホ木澤附近カラ福島近邊ノ方
ニ廻スコトハ簡單ナコトト云フコトガ聞イタケ東京方面ノ人
々ニ聞イテモ板谷ノ關係カアルケシイ

三宮新潟鐵道局長 調査ハ出来ニ居ルカ資材豫算ガ減ラサレテ
居ルノテ着手サレルハ莫當付カナイ

山内山形縣知事 支線ノ新設ニ結構ニアルガ東北地方ハ表

(新上野國定郵便局一八二二(一九七九))

百六十裏日本ハ非官ニ違フ何カ鐵道ノ停待トナハス
ヲ除去スルコトモ存ヘタイ

三宮新瀧鐵道局長 現在輸送ノ便向カリ其ルト流レハ大体相

越線終由ヲ真利線カクイノニ第ニ義的ニ是ラレルコトニナリ

山内山形縣知事 河トカ御存ノ慮願セシイ

梓木盛岡工務所長 米澤カラ出ニ行ケ線ハ存ヘテ居ルカ此ノ前ノ

不景氣ノトキニ削ラレテ儘ニナラテ居ル

林宮城縣知事 電源開發ニ付遞信局カク何カ

伊藤公量遞信局長 私新任間ニナリコトニアルノニ電氣部長カク

中トゴルトニスル

野尾仙台通信電氣部長 電力開發ハ適切ニモノト思フ水力調査ハ明治

四十三四年頃第一次大正七八九年ハ第二次四五年前第三次

調査ヲ初メ全体豫算四五十萬ヲヤツテ居ル當局ニアルモノハ

微力ナモノニアルカラ日發ニ御願レテヤツテ莫クコトニナラテ居ル

宮 城 縣

第三次ハ最近水力ト火力トノ聯合セト貯水池ノ利用ト云、茲

カラ調査ヲ進メテ居ル

第ニハ電源ノ確保ト地方ニ事業カ起スト云フニツノ意味カ今モ

レテ居ルト思ハレル發送電ハ政府ノ指示ニ基イテヤラレルノテ

アルカラ全國的ニ是ニ開發ヲ進メラレテ行カレルコト、是ニテカ

芝敷東北振興電力合伴セラレタ 除、東北局其ノ他ノ盡力ニ

依リ東北地方ノ特殊事情ニ基テ開發ニ行ハレルコト、思フ、

奈電所建設工事ノ促進之ハ資材ノ關係ヲ達シ勝ニアルカ

東北地方ノ教ト地蒸工事中心アル之ハ却テ容易ニナリコトテ

アリ各業長官ノ御協力ニ依リヤツテ行キタイ

次續工業用電力配給確保ニアルカ数年前湯水カ有、電力

力ノ消費規正カ行ハレタ 湯水時期ノトキハ地域別ニ制限ラ

セツテ未ダカ東北地方ハ用ニ急マレニ非常ニ制限ラセツタコトハ

ナリ也ニ需要ノ増加ニ伴ヒ奈電所ノ建設工事カ伴ハナイ憾

(新上り調査規程第一八三頁)

ノアツタテ東北振興ハ非常ニ深イ關係ヲ持ツニ居ルト思
ハレル也般東北六縣長官其ノ他ヲ組織スル電力調整委員
會ヲ開イタ際東北振興計畫ニ付強イ要望モ有リ私共
モ之ガ實現ニ努メテ居ルガ此ノ上共色々ト御心配願ヒタイ
ト思フ昨年東北ノ電力會社ガ合併シテ東北配電株式會
社トナフタガ尙三十五ノトヤヤ會社ガ没存シテ居ルガ之モ去年
四月ニハ配電ニ吸収サレルコトニナルソウナルト能率ガゲント
良クアルト思フ

次ニ農村電化ニアルガ食糧増産ノ中ニ織込シテ居ラレル
コト、思フガ石油資源ノ不足ニテフニ居ルマストキ最良イ方
法ナルト思ハレル

現在當局ヲ行フテ居ルモノハ
一昭和十一年東北振興計畫ニ八萬月ヲ仙臺逓信局ニ配付ニテ
リ農村電化ニ活用スルコト、ソウタ之ハ共同作業場ニ於テ配

宮 城 縣

電設備ノ助成ニ費ヲコトニテフニ居ル。最初三年計畫ニテ
ノケ六七年ヤツタ其ノ成績ハ約五百位アルト思フ之ハ昭和十
一年度カ以テ打切トナフタ之ハ私共トシテ、残念ニアルカ
顔ノ豫算ナリテ普及ガ充分ニナイ内ニ打切ラレタノテ
止ムヲ得ス一昨ノ業者ニ相談シテ東北振興會ヲ結成シ
テ特ニ東北ニ必要ナリ農村技術ノ研究クマリ、今日ニ至リ
タカ發送電ニ持テ御願シテ本年度ハ四萬月ヲマツテ行クコ
トニナフタ發送電會社モ從來ノ振電ノ便命ヲ引継ト
話ガアツタカ之ハ農村電化モ含ムト認メ會社又店ニ振
興課ヲ設ケテ電化ニ努メテ居ル配電會社ニモ振興課ト
云フ他ノ地方ニナイ機構ヲ設ケテ電化ニ努ムルコトニシテ居ル
御了解ヲ願ヒタイコトハ農村電化ハ電力方面ヲヤルコトハ
考ヘテ勝テアルガ之ハ各縣ノ特別ノ御協力ヲ願ヒタイ次第
ナル農林省方面ニモ御願シテ居ルガ農林省ヲハ油ノ配給ハ少ナ

(新上ノ國定規格「ハ」ニ準ジテ)

イカニ知レヌク必要ノ分量ハ配給シテ居ル等ト云フコトモアリ
時局ノ進展ト共ニ石油ノ規正ハ難シナリナリ付テ是ニ付ニ農林省ハ
電化ヲ非モテニ希望シテ居ル

林宮城縣知事

石油ノ段々窮乏ニナリ農林省ノ方ニモ

電化ヲヤレト云フテ未テ居ルシ骨ヲ折フニ居ルガ是非農
村電化ニ付テハ御活ノアツク様ニ進メニ行ク様ニ東北局ノ方
ニ御願スルコトスル

岩上秋田縣知事

之ハ相志田ニヤツテ莫ウシテスネ

宇都宮東北局長

之ハモツト大キクシマスカナ

岩上秋田縣知事

大キクシメ方ガ良イト思フ

渡辺東北局書記官

一々年トノ位豫算ノ消化ハ出来ルカ

野尻仙台通信局電氣部長

十五萬円ハ消費出来ル

渡辺東北局書記官

電氣廳ノ計畫ハ少シナイ出来ル限大キ
クシナイ

宮 城 縣

野尻仙台通信局電氣部長

灌漑排水用ノ電氣設備ニ付助成シテ貰
コトイト云フ様ニシテイト云フ希望ヲ持ツテ居ル

宇都宮東北局長

今日ノ會議ノ希望トシテ至急其ノ旨ヲ
本省ノ御傳ヘ願ヒナイ

野尻仙台通信局電氣部長

承知シタ

林宮城縣知事

日發ト配電ノ方テ何カ

橋本配電社副社長

只今ノ電氣部長ノ話ニ盡キル

長南奉送電東北支店長

電氣部長ノ話ノ如ク奉送電ハ國策ニ依ッ
テ進メテ居ルガ資材ハ非常ニ乏弱屈テアル

發電所ノ建設ノ内今年度中ニ落成ヲ見ルノハ曲ナク和田
テアリ之ハ今年度中ニ出来上ハ積リテアルガ資材ノ配給ノ関

係而シテ鐵管丈ノ配給ガ少ナイノテ困ッテ居ル明年年度以降東
北振興ノ使命ヲ継承シテ當社トシテ其ノ豫定トシテハ舊振

電ノ計畫ヲ尊重シテ夫テ大体ヤツテ行フ積リテアル其ノ計

(新上野國史編纂部編一八〇〇年)

畫ニ添ルトキハ 生保内米内ノ増設主石ノ増設福島ノ新田
川ノ増設ガ十八年度ニ出上ル豫定アリ内 生保内ハ大キ
トモテアル十九年度カラ二十一年度迄ハ豫定ニア 確定ニ
ハ無イガ二十一年度迄ハ豫定アリ確定テハ無イガ十九年
度ハ岩泉火下十 和田(三台目)二十年度ハ針川具三十一
年度ハ十 和田下流 夏瀬 鯨川 針川 下流アリ大体
二五ノキ口カラ三ノキ口迄毎年加ハフテ行クコトニテ
ルト思フ

林宮城縣知事

内務省カラ治水港灣ニ付テ

近田山台土木出張所長

内務省ノ出張所トシテ関知シテ居ルノハ

河川ノ改修ノ國道ノ改良港灣ノ修築等ニ河川ハ河水

統制ヲ加味シテ工事ヲ進メテ居ル

國道ノ改良ハ昭和十年カラマフニ居ルガ何レモ單年度ノ

事業トシテ居ル關係上東北振興上非常ニ進メテ居ルニテ調査

宮城縣

連メテ居ル状態ニ付テハ其ノ内最モ必要ナ側所カラ進メテ

行ク考ヲ持ツテ居ル調査シテモ内務省ノ方ヘ出シテ居ル

次第ニ付アル

港灣ハ現在上野 青森 八戸 小名浜 四港ヲマフテ居ル當面港

灣ハ相當擴張ノ要カアル様ニ認メラレテ又防波堤ノ築造

等ニ付テモ私ノ方ニ調査トシテ調査シテ當局ノ方ヘ要望シテ

居ル

河川水統制ニ付テハ綜合計畫ニ依リヨリテモヤツテ居ル

現ニヤツテ居ルモノハ名取川 北上川ニアル之ハ洪水調節ト

共ニ灌溉工業用水奔電ニ資スル為ニモテアル之等ノ長

期間ニ亘リテ居ルノテ可成短期間ニ結了スル様ニ進メテ

考ヘテ居ル

次工業地帯ノ造成ハ最モ必要ト考ヘル之ニ付テハ條

件等ヲ考ヘテ適地ヲ選ハレナレバナラナイト思フ之ニ關係

(新上野國史館附屬(一)ノ二五七頁)

シテハ郎為 山區開發ニ付テ一應ノ調査ヲスル様ニトテ話ヲ進メテ
居ル次第ニテアル

其ノ他東北振興ニ關係スル點ハ多クアルト思ハレルガ申上テマモ
カ差當リノモノトシテ考ヘテ居ル次第ニテアル

林宮城縣知事 營林局ノ方、御考ヲ
肯森營林局長 林産資源ノ開發ニ異存ハナイガ私共ニ配シ

テ居ルハ木材ノ増産ニ伴ヒ増収ガ行ハレ居ルコトニ之ハ
國有林ニ不局民有林モ相當ナモノニアルト思ハレル夫モ努力ヲ

運輸ノ關係上便利ノ上地ガ行ハレ居ル今迄ハ生産開發ヲ
考慮ニ入レテ採ヲマツテ来タガ今後ハ生産ノ彈力ガ意ヲ

ナリ將來生産ノ危機ト云フコトカ未ハコトカ豫想サレル私共、特
ニ御願スルハ檀産モ必要ニテアルガ之ニ對シテ林道ノ開設其ノ

地ノ施設ヲ進メテ行ヤタイト考ヘテ居ル林産資源ノ開發、中
ニ其ノ點カ合コレルコトナラバ急務ニアルト思フ

宇都宮東北局長 林道ノ開設、薪炭林ノ改良トテ大規模ニ
考ヘテ居ル

從来開發セム個所ノ余ヌルコトニシテアルガ、
新ラレノ開發スルノミテナク色々考ヘテ居ルガ

之ニ付テハ農林省ニ話レテ見ルコトニスル
中尾兼善局長 伐木ノ培養ヲ超エテ居ルノテ造林スル方カ伴

ハナイ計畫ハ農林省カ持ツテ居ル様ニアルガ實行カ之ニ伴ハナイ
テ之ヲ續ケテ行クコトニナレバ治水事業ニモ關係スルコトニアルカ

伐木ノ併行シテ植エテ行キナイト將來困ワラコトニスル
國有林野ノ利用ト云フ話ガアルガ此ノ事情ヲ通シマスガ茲ニ書イ

テアル様トコトハ現ニ相當ヤツテ居リ又今後モヤル積リテアル
農地開墾營團ニ對シテモ相當開放シテ居ルガ遺憾ナコトハ樹

令ノ若イモノラトシ、伐ワテ居ルノテ困ワテ居ル場所ハ福島縣
テアル要スルニ國全体トシテ開發計畫カ缺ケテ居ルト思ハレル之

(新上野國定製糖所) (一八八〇年)

ニ付テ綜合シテ計畫ヲ樹テル振協力ヲ御願スル

林宮城縣知事

東北興業ノ強化ニ付テ

川越東北興業株式會社總裁

東興ノ機能強化ノ内容ニ付テハ色々考ヘ

ノ此ノ前ノ議會ニ法律案ヲ出シテ考ヘ其コトヲ政府ノ

最高方針ニ基イテ一應引込メテ次第テアル今度ノ二期計畫ニ

伴フ幸調査會ヲ出来上ツモノテ夫ニ付議シテヤツテ貰フコトニ

スル今日私ガ申上ケルハ未ダ調査會ニカケテ居ラナイノテ私ノ

私案トシテ御聞キヲ願フ

當社ハ昭和十一年ニ出来タノテ國策會社トシテハ國內ノ走りデア

ラテ昭和十一年當時ハ時局モ緊迫シテ居ラカッタノト東北地

方ノ凶作ニ基キ救済對策トシテ考ヘラントノテ他ノ會社ニ比シテ特

點ガ薄イノテアル例ヘハ政府ノ出資ガ少イノテアル最近ノ會社

ハ政府ガ金額出資或ハ半分ヲ出資シテ居リ民有株ニ配當ヲ優先

サセテ居ルガ會社ハ政府ノ金ハ一文モ入ツテ居ラズ大抵今ハ東北地

宮城縣

方ノ公共團體ノ所有テアル株ノ配當補償ニ付テモ條件カ付テ居

ル最近ノ會社ハ六分ノ配當ヲレ政府ハ意制限ニ保證スルガ東北興

業ニ對スル政府ノ保證金ハ一定ノ限度ガアル助成金ハ低ク八五〇萬

円テアル六分ノ補償ハスルガ十年ヲ通シテ八五〇萬円ハ超エ

テハナラヌトアリ限度ハ低イノテアル

又借入金ノ利子ノ補給税金ノ免除ヲレ貰ハナイト云フ格

ニナツテ居ル

會社ハ先程桑原副總裁ノ申上テト通相當ノ仕事ヲシテ居ルガ

特局下ニ於テ必要トスル産業特ニ東北地方ハ地下資源ノ開發

例ヘハ銅テアルガ之ハ南方方面ノモノガ入ツテモ足ラナイノテアルガ

東北地方ニ多ク産出スルチアルガ之ヲ開發スルコトニスルソウ云ワ

テ次第テ從來ハ東北ヲ救済スル手段トシテノ東北振興デア

ツノガ今后ハ國策ニ順應スルト共ニ一方ニ於テハ東北振興ニナ

ルト云フモノヤマルコトニレテ居ル

(新上ノ國文規格) 一〇二五三三三

今日現在迄直接事業千六百萬円其ノ他千四百九百萬円
是ラズノ金ヲ費ツタ次第デアリ。今后モヤラテハナラナイ
モノカ澤山アル幸秋田ノ小坂ハ日本ノ銅資源トシテ極メテ良
イトコロアルノテ四千萬円ヲサケテヤルコトニシ内二千萬円ハ
會社ノ出資デアアル銅ヲヤルコトニテト合銅ハイライトラ生シ之
カラ硫磺カ出ルノテ秋田ノ營林局ニ御迷惑ヲサケテ来タガ此ノ
豫防施設トシテ大キク金カ要ル

其ノ他機械工業デアルカ之モ今茅クフキワアル様ニナツテ居ル
軍ノ直接間接ノ命令ニ依ル増設ヲマナクテハナラナイ或ル
種ノ兵器工場ノ如キハ全國唯一ノモノデアル。又アルニニームノ
増産モ色々ノ關係ヲ只今ハ電解工場大ガアル幸南洋ノ
ホーキヤイトカ手ニ入レバ一貫作業ヲヤツテ行フ計畫ヲマ
リタイト云フ状態デアル。

宮 城 縣

八千萬円ノ半分ヲ費ツテアツタノデアルカラ今云ツタ様ニ計畫
ヤツテ行ク為ニ資本金ハドウシテモ是リナイノテ資本金ヲ倍ノ
六千萬円トシ社債ハ五倍ノ三億円トスル政府ノ出資ヲ多ク
クシ又民間出資團體ノ内八割迄ハ公共團體ノ所有トシテ配
當或モ出来ヌノテ意制限ナル政府ノ保證ヲトツテ莫ク其ノ外
税金ノ問題モアル之モ相當ノ額ニ達スル例トシテ子會社ヲ
トツテ見ルト何レモ非常ニ成績カキイナリテアルカ今其ノ子
會社カラ六分ノ配當ヲ受ケタトシテモ税金ク銅メテアツト非
常ニ大クナリ四分位ニナツテ了ラフノテ之カ考ヘテ莫ク
序ニ申セザルカ之等ノ仕事ヲヤツテ行ク為ニ鐵道ノ建設
電力ノ供給特ニ港灣ノ施設カ大切デアアルカ夫カ東北地方ハ
遅レテ居リ特ニ港灣ノ施設カ遅レテ居ル浦賀以北函館以南
ニ大キク船渠ガナイノテ將來戦争カ北ニ延ビタトキノコトヲ考
ヘルト驅逐艦位ヲ入レル港灣カ欲シノナルノテ之ハ海軍ノ方

(新上野國定製糖株式會社)

カラモ云ハレテ居ル。志田社トシテハ。産産ニ船渠會社カアルカ將來
益々擴張スベク考慮中ニテアル

何レニシテモ。綜合的ニ計畫ヲ進メネバナラナイ。

林山宮城縣知事 宮城縣東北振興ニ關シ市中ニ御考ニテフ

テ居ラレルコト。

宮城縣國會議員 東北振興ヲ圖ルトスルト工業ヲ興スコトカ緊キ

要デアルト思フ。然レバ工業ノ内トノ工業ヲ興スコト云フコトニナルト私

ノ考ハ。機械工業ヲ起スコトニナルト思フ。東北地方ハ天産資源

ニ富マレテ居ルシ。地下資源ノ開發ニ必要デアルカ地方カ肥ス。局

ニ機械工業カ必要デアル原料ヲ起シテ工業ヲ起ス。テアルカ核

心工業ハ最後ノ仕上ゴデ人ヲ必要トスル。テ東北振興ニ上道

切ナス。ト思ハレシ。

東北地方ハ産業戦士ノ産地也云ハレ。大量ニ移出シテ居ルカ之ヲ

茲ニ止メテ居イテ振興ヲマルニハ機械工業ヲ起サテテレバナラナイ。

宮 城 縣

化學工業ハ東北興業株式會社テモヤツテ居ラレルカ物理工業カ全

クナイ。其ノ爲ニ地方カ振ハナイ。化學工業ヲ興ルマスト人手カ不用

ナイ。テアルカ物理工業ハ人手ヲ多ク入レル産業戦士ノ收入ハ

其ノ土地ヲ潤スコトカ多ク。家ニ送ル金ハ少クナル。産業戦士ノ收

入ニ其ノ生産スルトコロニアレバ地方ハ良クナルト思フ。東北地方ノ体

格カ落ケテ居ルノモ。出稼ノ爲害ハレル。テアル特ニ結核。花柳病

カ多ク。病氣ニナルト工場設置ノ病後ニ療養ハスルカ結局家

ハ帰ルモノカ多ク。所カ夫カ方々ニ。病氣ヲマキ落スト云フ。澤ニナル

東京。テ生レテ東京。テ育ワタ者ハ。感染率ハ低イカ。東北地方ノ

青年カ病氣ニ罹ルト猛烈ニ。末テ間。モテリ。産産戦士ヲ

コンナコトカ原因シテ居ルト思フ。之ヲ考ヘルト。産業戦士ヲ

此處ニ止メテ。此處ニ工業ヲ起スコトニシタイ。物理工業ハ男ヲモ女

モ。若イ子供モ。出來ルシ。数ヲ多ク。要ル。然レシ種ヲ。蔭カテイト起ラ

ナイ。例ハ。長岡。市ハ。機械工業カ盛ニテアルカ。前ニ石油ノ産地ヲ

(折上り國定規格紙一四三三三三三三)

井戸堰敷成り段々進歩し来り日三鐘山之同保嶺山機械の年
達し交り

精密工業の何々意味フルカト云フト年々工業ト云フコトニナル形
ノ小ナルモノヲ指スルコトハナク精密ノ第一番精密ナモノハ大砲デア
リ決シテ大小ニ依リテ決スルコトナク工作機械ハ振ラハル機械ニア
リ後ハ人手ニアル東北地方ノ人達ハ精密工業ニ邁スルト云ハル
軍人ハ東北地方ハ一番優秀ニアルト云ハレ居ルカ之ハ右向キト
云ハレト三月モ何日モ右向キ居ルカ云アル、精密工業ニ
同じチアル日今ノ一、精密度ハ千今ノ一、精密度ヲ持ツル機械ニ
ナレハ出来ル而シテ今ノ一、精密度ハ千今ノ一、精密度ハ千今ノ一、
ワ人ハ頭ガ良イト思ハルカモ然レナイガ幸ハ日純重ニアル
色々思ヒ合ヒテ東北ハ機械工業ヲ起ス、カ自今ノ思フニ是程
總裁カ或ル工場ニ出来ル戦車砲カ非常ニ優秀ヲト云ハレ居ル
尚私ハ大學生ニマフテ居ル製品ニアルガ之ハトイフノ製品ヨリモモワ

宮 城 縣

ト良イ然レ工業トスルトモハ大量生産ト云フコトモ考ヘナレバナ
ナイノニ精密度ト大量生産トカ既合ヒマフテ行ク者ナリ、
中ノヒアルカ日本ハ機械ノ償却期間ハ三十五年ト云フ語ニアルガ
之ハトシ、新レイ機械ヲ入レテ行ク様ニシテハナラナイト思フ
其ノ為ニ三四年ニ制ラシク行ク様ニシテハナラナイト尚
東北地方ニハ實業學校カ桐留アルカ其ノ卒業生ハ多クハ他ノ
地方ニ行クニ居ルカ實業學校カ卒業シテ者ハ此處ニ止メテ
ク採ニシナレバナラナイ、人々モ其ノ折角實業學校カアツニモ
地方ノ振興ニハナラナイコトニナル、其ノ為ニモ大等工業ヲ起サ
ンバナラナイト思フ、科 學 智 識 普及カ充テテ其ノ為
ニ何ヲヤラシモ充テナイ、其ノ為ニモ實業學校カ卒業シテ
者ハ多ク地方ニ居ルコトカ望マレナイ、中學校カ設ニスル必要カ
アルナラバ之ニ換ヘニ實業學校カ造レハ良イト思フ

林宮城縣知事 御多忙、處御集、カ願ヒマシテ各マト

(新上野國史館附録(一)第XV頁)

御話ヲ承ハリ相立間ニ連絡ヲ圖リ更ニ認識ヲ深クシタコトハ感
謝ニ堪ヘナシ更ニ多数ノ方々ノ御来兵ヲ御願スル日教ハナシト思ハ
レルガ今後各位ノ連絡ヲ執ツテ行ケハ非常ニ役立ツテハナシ
カト思フ、今日ノ場合デテ鏡山ト鐵道ノ如ク關係各廳ノ
直取引ノ御相談ヲ願ヘレバ結構デアルト思フ、本日ハ東北局門
廳御出席ノ上種々御説明ヲ煩ハシ感謝ワル次第デアリ
長イ時間御苦勞様デアリタシ之ヲ閉會スル
干時午後四時十五分

宮 城 縣

第百 歳出合計
 第一項 豫備費
 第五款 豫備費
 第百 歳出合計

三	五	三	五	一
五	五	三	三	二
〇	〇	〇	〇	五

三	四	四	四	一
四	五	五	五	二
〇	〇	〇	〇	五

一	一	一	一
二	二	二	二
〇	〇	〇	〇

消耗品費
 雑費

供覽

局長了書記官 係

東北地方知事連絡協議会協議事項

(昭和十七年四月六日
於福島縣庁)



懇談事項

一、來ルベキ市町村會議員選舉ニ於ケル地方黨ノ指導ニ付御意見ヲ承リ度

秋田縣提出

協 議 事 項

一、郷倉運営ニ關スル件

宮城縣提出

一、學務部關係連絡會議開催ニ關スル件

青森縣提出

一、中等教員養成ニ關スル件

青森縣提出

一、官吏制度改正ニ關スル件

宮城縣提出

一、府縣現地實行機關ニ關スル件

山形縣提出

一、視學及職業指導所職員ノ待遇改善ニ關スル件

岩手縣提出

一、民有林造林獎勵促進ニ關スル件

宮城縣提出

一、暗渠排水工事用資材確保ニ關スル件

青森縣提出

一 米穀増産用資材ノ等別配給ニ關スル件

福島縣提出

一 國庫補助交付時期ニ關スル件

福島縣提出

一 鐵道運賃低減並生乳輸送増進方ニ關スル件

福島縣提出

懇談事項

秋田縣提出

一 來ルベキ市町村會議員選舉手ニ於ケル地方
廳ノ指導ニ付御意見ヲ承リ度

衆議院議員選舉手ニ付テハ政府ノ方針ニ
從ヒ啓蒙運動ヲ実施セルニ來ルベキ市町村
會議員選舉手ハ地方ニ於ケル重大関心事
ナルニ鑑ミ地方廳トシテ如何ナル措置ヲ為
スベキヤ若縣ノ御意見承リ度

秋田縣提出

大日本帝國政府

照

法律第十四号 (一十七、三、二〇公布)

食料管理法

第四五条

左に掲ぐる法律ハ之ヲ廢止ス

一 米穀検査法

二 米穀統制法

三 米穀行政管理法

四 米穀配給統制法

五 米穀共同貯蔵助成法

六 政府所有米穀特別處理法

七 昭和九年法律(第五十二号)

八 昭和十二年法律(第九十号)

前項に掲ぐる法律廢止前該法律所則ヲ適用スヘカリシ行為ニ付テハ仍舊前ノ例ニ依リ
第一項に掲ぐる法律ノ廢止ニ因シ必ズ九規定ハ勅令ヲ此ラ之ヲ定ム

裏面白紙

一、地方國民貯蓄職員ヲ中間機關ニ配置方ノ件

官城縣提出

地方國民貯蓄職員ヲ近ク設置セラルベキ中間機關ニ配置シ得ル様措置セラレ度要望ス

理由

地方待遇職員令ニ基ク地方國民貯蓄職員制ヲ制定シ國民貯蓄主事及同主事補數名ヲ全額國庫補助ヲ以テ各府縣ニ設置セラル、コト、ナリ之カ取扱方ニ關シ三月二十八日附ヲ以テ國民貯蓄獎勵局總務課長ヨリ各府縣總務部長宛内報セラレタル處ナルモ其ノ注意事項中ニ「本助成金ニヨリ設置セラレタル職員ハ之ヲ本廳ニ止メ置キ中間機關ニ配布スベカラザルコト」トアリ斯クテハ中間機關ヲ設置シ現地ニ於ケル事務ヲ敏速效果的ニ處理セシメントスル趣旨ニ副ハザルノミナラズ本件國民貯蓄獎勵事務ノ

如キハ現地ニ於テ常時獎勵ニ當リ始メテ充分ナル成績ヲ呈ゲ得ルモノニシテ本職員ノ中間機關ニ配置スルヲ禁止スルガ如キハ國民貯蓄ノ所期ノ目的達成上甚ダ遺憾トスル所ナルヲ以テ本廳ニ於ケル事務ノ統轄上必要ナル職員以外ハ中間機關ニ配置シテ充分ナル活動ヲ爲サシメ以テ國民貯蓄ノ目的達成ニ盡善ヲ盡スヲ要ト認ム

一、民有林造林獎勵促進ニ關スル件

戰時時局、要請ニ基キ木材木炭等ノ増産ノ影響ハ已ニ
過伐ノ傾向ヲ生シツ、アリ此儘推移スルトキハ森林資源ノ減耗
ハ勿論治水上ニ憂フハキ結果ヲ招來スル虞アルヲ以テ此
際積極的ニ造林ヲ獎勵シ以テ將來ニ備フルニトシ、致度付
テ、現在補助率四分ノ一以内トフルヲ公有林造林補助ニ様
三分ノ一以内ト更メラル、様政府ニ要望セントス

官吏制度改正ニ關スル件

一、地方待遇職官ヲ奏任文官ニ任用シ得ル途ヲ一層廣メラレタキニト
地方待遇職官ニヨル奏任待遇又ハ判任待遇事務職官(地方農林
主事、地方高工主事、社會事業主事等)ハ文官任用令ニヨル一
般ノ文官トハ自ラ其ノ職責ヲ異ニスルモノナリトハ雖現在其ノ職ニ在ル
モノノ素質、手腕必スシモ一般ノ文官ト著シキ遜色アルモノニハアラ
ス待遇職官中事務職官ニ任用シテ可ナリト認メラルモノ相當アリ然
ルニ現行ノ規定ヲ以テハ判任官五年以上在任シ又ハ奏任待遇ニ
在リテハ其ノ職ニ三年在職スルコトニヨリ始メテ其ノ從事スル事務
ト同種ノ事務ヲ掌ル奏任官タルコトヲ得ルニ止マリ其ノ兩者ニ勤績
期間ノ通算ヲ認メラレシ徒ラエ人材ヲ抱キツク之ヲ適所ニ任ス
ル能ハス殊ニ判任待遇ニ在リテハ全ク銓衡資格ヲ認メラレズ斯
クシテ今日ノ人物拂底ニ處スル拱手ニテ有能ノ材ヲ拔擢シ得ス
資格條件ヲ三捉ハレテ官吏ノ素質ノ低下ヲ見ルノ結果トナル

ハニ依テ文官任用令ヲ改正シ學識經驗アリ奏任文官ニ任用
適當ト地方長官ノ認マルモノニ就テハ待遇職官ニ在リテモ特別
銓衡ニ依リ奏任文官ニ任用シ得ルノ途ヲ開カレタシ
參照

奏任文官特別任用拔萃

第一條 高等官四等以下ヲ最高官等トスル奏任文官ハ五年以
上判任以上ノ官ニ在職シテ行政事務ニ從事シ判任官五級俸
以上ノ俸給ヲ受ケルモノ中ヨリ高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ
任用スルコトヲ得

第四條 三年以上地方待遇職官令又ハ同令ヲ準用スル規定ニヨリ任
用セラルル奏任待遇事務職官ノ職ニ在リタル者ハ高等試驗委
員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ其ノ從事スル事務ト同様ノ事務ヲ掌
ル奏任文官ニシテ第一條第一項ノ規定適用ヲ受ケルモノニ特ニ任
用スルコトヲ得

四月十二日 東北地方知事連絡協議會提出事項

東北地方知事連絡協議會提出事項

育 森 野

一、學務部關係聯絡會議開催ニ關スル件

學校教職員ノ待遇、國民學校教職員試験檢定、勞務動員及軍事援護事業ニ
關シ東北六縣相互ノ連絡統制又ハ均衡ヲ圖ルヲ要スルモノ甚ク多シ然シ
テ問題ハ微細ノ點ニ涉ルモノ多キヲ以テ幹事縣ニ於テ主管部課長ノ聯絡
會議ヲ開催セラレタシ

二、中等教員養成ニ關スル件

中等教員養成ノ爲目下六縣共同ニテ東北帝大ノ協力ニ依リ養成講習會開
催ノ處中等教員ノ渾底依然タルモノアルヲ以テ十七年度ニ於テモ繼續實
施スル様幹事縣ニ於テ幹事セラレタシ

女子運送ノ問題ハ、浦安至多摩川方面ニ於テ、
引込レキヤルモノニテ、色紙ヲ考ヘ、
立片ニテ、
女子運送ノ問題ハ、浦安至多摩川方面ニ於テ、
引込レキヤルモノニテ、色紙ヲ考ヘ、
立片ニテ、

三、暗渠排水工事用資材確保ニ關スル件

耕地ノ暗渠排水工事ガ食糧増産ト冷害防止ニ顯著ナル効果アルハ言ヲ俟
タザル所ナルモ其主要資材タル「セメント」及土管ハ益々其ノ獲得ニ困
難ヲ來シ獎勵上大ナル障礙ヲナシツツアル現状ニアリ

依テ此際速カニ「セメント」ノ特配方ヲ要請スルト共ニ土管ニアリテモ
東北地方ニ於テ之ガ自給自足ヲナシ得ル様適當ナル方策ヲ講ズルノ要
アリ

府縣現地實執行機關ニ関スル件 山形縣

今年七月ヨリ設置セラル、山形縣現地實執行機關ハ現下ノ諸情勢ニ鑑ミ洵ニ緊要適切ナル方策ト認めラルモ尚且記各項ヲ實現セラル、發配意相成度

記

一 地方ノ實情又ハ事務ノ性質ニ依リ市ヲモ管轄シ得ルコト
二 現地實執行機關ハ人的ニモ事務的ニモ可及的強力ナル

機關タラシレハルコト

三 廳舎ノ増改築等ニ初度調査ニ多額ノ経費ヲ必要トスル見込ナリ以テ國費ニ於テモ相當考慮セラル、コト

四 住宅研究ニ實情ニ付地元市町ヲ以テ職員住宅ヲ

建設セントスルトキハ之ニ對シ預金部資金ヲ融通セラル、コト

東北地方知事連絡協議會提出要望事項

福島縣

一 國庫補助交付時期ニ關スル件

水害冷害等特殊關係事業ヲ除キタル國庫補助事業ハ
遅クモ年度半頃迄ニ其ノ計画ヲ樹立シ上施行スルハ縣自体
ニ止ラス、事業団体ニ対シテモ極メテ重要事ナリ、

然ルニ三度半ヲ經過シ甚シキニ至リテハ最終議決期ヨリ三
月下旬ヲ過ぎ國庫補助交付ノ内示ヲ受ケルコトアリ之ニ依リ
急速執行スルハ至難ナル、ナラス補助ノ精神ヲ充分ニ發揮
シ得ナル憾ナシトセズ

勸業關係ニ於テ比較的ラツキ此種國庫補助ノ交付ハ出來得
ル限り豫メ全計畫ヲ樹立シ以テ豫算ノ執行ニ利便ヲ図
ラル、豫要望スルモノナリ、尚相當事業ノ進捗ヲ見ケル後補

助減額指令等並ニ之樣計画面要望スルモノナリ、

二 鐵道運賃低減並ニ生乳輸送特別取扱方ニ關スル件

四月有ヨリ改正、鐵道運賃ニ依レバ生乳ニ於テハ旧運賃ニ比
スルニ約五倍ニ相當セリ、然ルニ他ノ運賃ヲ見ルニ旧運賃ノ五
割程度ノ増加ニ不拘、獨リ生乳ノミカ高率ノ増額ヲ見ルハ
農家ニ於ケル生乳生産者ノ負擔ヲ増加スルノミナラス、飼料ノ
配給減ニ依リ生乳ノ減産ト共ニ一層生産減ニ陥ル虞アリ、近
テハ時局下單需及乳幼児、病弱者ニ缺クベカラザル栄養
食品タル生乳及乳製品ノ生産ニ影響ヲ及ボス事ハ誠ニ憂
慮ニ堪エケル所ニシテ生産力擴充ニ支障ヲ來スコト甚大
ナリト思料マラル即チ緊急ニ之カ運賃ノ低減ヲ要望スルモ
ナリ、

一、米穀増産用資材、特別配給ニ關スル件

重要國策タル米穀、増産確保上必要ナル資材殊ニ耕地事業
用「セメント」、配給極度ニ不足シ加フルニ暗渠排水用陶管
ノ入手亦甚々困難ヲ來シ工事ヲ中止スル、已ニナキモノ無シト
セス甚々憂慮ニ堪ヘタルモノアリ、仍チ東北地方ノ特殊事
情ヲ考慮シ特別配給方ヲ要望セムトス。

裏面白紙

東北地方知事連絡協議會提出事項

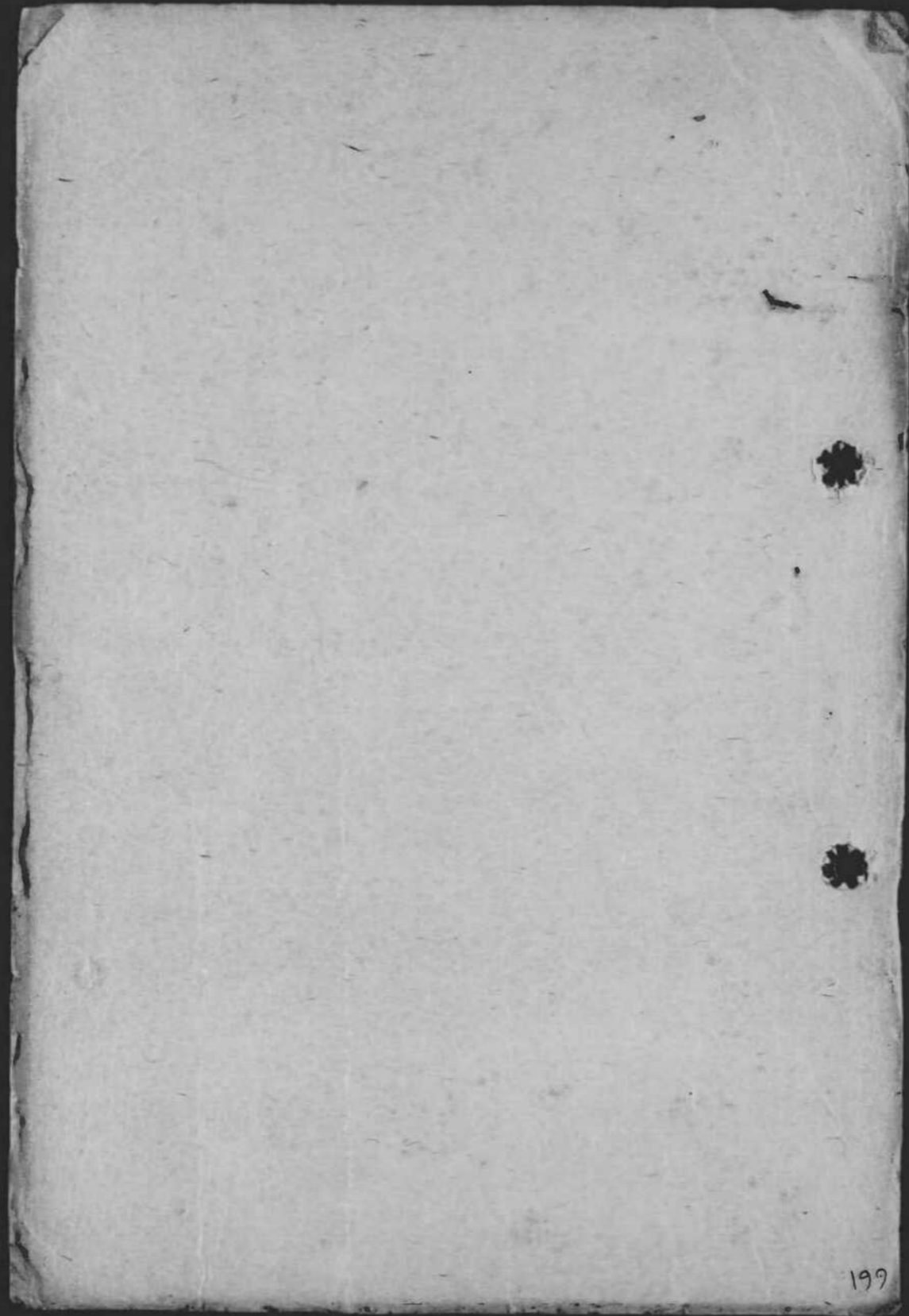
山石 于 縣

一、視學及職業指導所職員ノ待遇改善ニ關スル件

(1) 國家隆昌ノ根基ニ培フ皇國民鍊成ノ重要性ニ鑑
ニ國民學校制度ノ實施ト共ニ漸次國民學校教
員優遇ノ道謀セラレツ、アリ且ツ近々實現セン
スル師範學校制度ノ改正ハ國民學校教員資
格及待遇ニ劃期的改善ヲ齎スモナルガ、之ヲ指導
監督ノ地位ニアル視學ノ待遇ニ關シテハ之ト相伴
ハサルモ、アリ、視學ノ職責ノ重要性ニ省ニ此ノ際視
學ヲ兼任官ト為シ物心兩面ニ於ケル優遇ノ方途ヲ

講ズルノ要アリト認メラルニ付テハ之ヲ實現方ヲ内務
文部兩省ニ要望致シタシ

(2) 國民職業指導所ハ時局ノ急進化ニ伴ヒ愈々國家勞
務配置行政ノ第一線機關トシテ重大性ヲ加ヘ來リ而
モ一昨年國民職業指導所ト改正セフレ務調整令
實施ニ當リテハ相當所長ノ權限擴大強化シ之ヲ國家
的の重要性ニ於テ時局的ニ極メテ大ナルモノアリ、之ニ伴ヒ
指導所職員タルモノノ社會的威信ト他官廳トノ均衡上
ヨリスルモ又會計法上ノ措置ニ於テモ不便甚カラザルモノ
アルヲ以テ此ノ際本官ニ待遇向上セシメ其ノ職務執行
ノ效果的ニシテ圓滿ナル運營ヲ期スルノ要アリト認メラル
ニ付テハ之ヲ實現方ヲ厚生省ニ要望致シタシ



199

